
第2次ながおかヘルシープラン21 重点取り組みの評価 【様式2】

平成25年度(2013年度)～令和5年度(2023年度)

令和6年8月
長岡市 健康増進課

様式2 重点項目に対する実施主体の事業評価

No.	事業名	実施主体	掲載 ページ	乳幼 児期	学童 思春期	青年期	壮年期	高齢期	環境
1	相談事業	人権・男女共同参画課 (男女平等推進センター)	1		○	○	○	○	
2	各地域のコミュニティ事業	市民協働課	1	各コミュニティにより設置					
3	地域活動事業	市民協働課	2	各コミュニティにより設置					
5	生涯学習推進・相談事業	文化振興課	2				○		
6	家庭教育活動事業	子ども・子育て課	2	○	○	○			
8	地域交流スポーツ大会	スポーツ振興課	3				○		
9	地域スポーツクラブ育成事業	スポーツ振興課	3			○	○		
10	生涯スポーツ推進事業	スポーツ振興課	3		○				
11	バリアフリーのまちづくり (新潟県福祉のまちづくり条例)	福祉総務課	4						○
12	民生委員活動	福祉総務課	4					○	
13	心身障害者スポーツ教室	福祉課	4			○	○		
15	ハンディスポーツレクリエーション講習会	福祉課	4			○	○		
24	介護予防事業	健康増進課、長寿はつらつ 課	5					○	
27	環境学習・啓発推進事業	環境政策課	5						○
29	基本計画の推進	環境業務課	6						○
30	ごみの有料化によるごみ改革事業	環境業務課	6						○
31	リサイクル協力店の市民への紹介	環境業務課	6						○
32	市政だより・ごみ情報誌発行	環境業務課	6						○
33	堆肥化容器購入への助成	環境業務課	6						○
34	ニート等の若者の就労支援事業	産業立地・人材課	6			○			

No.	事業名	実施主体	掲載 ページ	乳幼 児期	学童 思春期	青年期	壮年期	高齢期	環境
38	ながおか地産地産推進店 「はくはくさんのお店」の展開	農水産政策課	7						○
39	長岡市交通バリアフリー基本構想推進事業	交通政策室(都市政策課)	7						○
41	雪道計画推進事業	道路管理課	7						○
42	通学路歩道等消雪施設整備事業	道路管理課	8						○
43	(小学校における)環境教育	学校教育課	8						○
44	環境学習・啓発推進事業	学校教育課	8						○
45	適応指導教室	学校教育課	8		○				
46	熱中！感動！夢づくり教育推進	学校教育課	9		○				
49	教育相談・訪問相談	学校教育課	9		○				
50	体カテスト	学校教育課	10		○				
51	学校教育(運動)	学校教育課	10		○				
53	ふれあいスポーツアシスタント事業	学校教育課	10		○				
54	学校給食推進活動 (給食だよりの発行や栄養指導を含む)	学務課	10		○				
55	学校保健推進活動	学務課	11		○				
56	ブックスタート	子ども・子育て課	11	○					
58	長岡市ファミリー・サポート・センター会員養成講習会	子ども・子育て課	11	○					
59	子育ての駅運営事業	子ども・子育て課	12	○		○			
60	保育付き事業の実施	子ども・子育て課	12	○					
61	子育てフェスティバル	子ども・子育て課	12	○					
62	児童虐待防止ネットワークの構築 (要保護児童対策地域協議会)	子ども家庭センター	13	○	○	○			

様式2 重点項目に対する実施主体の事業評価

No.	事業名	実施主体	掲載 ページ	乳幼 児期	学童 思春期	青年期	壮年期	高齢期	環境	
63	母子健康手帳交付	子ども・子育て課	13			○				
64	ババママサークル	子ども・子育て課	13	○		○				
65	児童館・児童クラブ	子ども・子育て課	13		○					
67	サマーキャンプ (夏のつどいin妙高(磐梯)事業形態変更)	子ども・子育て課	14		○					
69	子ども・青少年相談活動(子ども・青少年相談センター)	学校教育課	14		○					
70	母子保健推進員の家庭訪問	子ども・子育て課	14	○						
75	乳幼児健診	子ども・子育て課	14	○						
77	子育てガイドの配布	子ども・子育て課	14	○						
78	産前・産後家庭生活応援支援事業	子ども・子育て課	15	○						
80	妊婦歯科健診	子ども・子育て課	15			○				
81	延長保育、一時保育、休日保育、病児・病後児保育	保育課	15	○						
82	保育園地域活動事業	保育課	15	○						
83	保育園地域子育て支援センター	保育課	16	○						
85	市が実施する事業の市民への周知	健康増進課	16			○	○	○		
86	受動喫煙防止対策	健康増進課	16			○			○	
87	地区健康づくり事業	健康増進課	17	各コミュニティにより設置						
89	家族で守ろうパパの健康	健康増進課	17			○	○			
91	健康づくり井戸端会議	健康増進課	17						○	
92	こころの講演会	健康増進課	18			○	○	○		
93	こころの相談会	健康増進課	18			○	○	○		

No.	事業名	実施主体	掲載 ページ	乳幼 児期	学童 思春期	青年期	壮年期	高齢期	環境
94	生活習慣病予防事業	健康増進課	18				○	○	
95	健康教育(地区別健康教育)	健康増進課	19				○	○	
97	電話等による健康相談	健康増進課	19			○	○	○	
98	あなたの健康相談	健康増進課	19			○	○		
99	健康診査事業	健康増進課	19			○	○		
100	特定保健指導事業 訪問指導事業	健康増進課	20				○	○	
102	歯周病検診	健康増進課	20				○		
104	食育推進事業	健康増進課	21	○	○	○	○		
105	児童館食育プログラム事業	健康増進課	21		○				
106	糖尿病を知るつどい	長岡市医師会	22				○	○	
107	健康介護まちかど相談薬局	長岡市薬剤師会	23			○	○		
108	糖尿病献立集による情報提供	栄養士会長岡支部	23				○		
109	地域の伝承料理集を活用しての情報提供	栄養士会長岡支部	23			○	○		
110	スポーツ栄養セミナー	栄養士会長岡支部	24		○				
111	生活習慣病予防のための食に関する情報提供	栄養士会長岡支部	24			○	○		
112	スマート・ダイエット・キャンペーン事業	栄養士会長岡支部	24		○				
113	幼稚園子育て支援事業	長岡市私立幼稚園・認定こども園協会	24	○					
114	各種大会開催事業	(公財)長岡市スポーツ協会	25			○	○		
115	スポーツ教室・クラブ運営事業	(公財)長岡市スポーツ協会	25		○	○	○		
116	スポーツ少年団交流大会開催事業	(公財)長岡市スポーツ協会	25		○				

様式2 重点項目に対する実施主体の事業評価

No.	事業名	実施主体	掲載 ページ	乳幼 児期	学童 思春期	青年期	壮年期	高齢期	環境
117	指導者・団体育成事業	(公財)長岡市スポーツ協会	25		○				
118	スポーツ教室・クラブ活動推進事業	(公財)長岡市スポーツ協会	26	○					
120	専門指導者派遣事業	(公財)長岡市スポーツ協会	26	○	○	○	○	○	
121	健康増進活動	JAえちご中越組織福祉課	26			○	○	○	
122	食生活の普及	JAえちご中越組織福祉課	27			○	○		
124	総合相談援助事業	長岡市社会福祉協議会	27			○	○	○	
128	社会福祉協力校指定事業	長岡市社会福祉協議会	27		○				
130	多世代健康料理教室	食生活改善推進委員協議会 (健康増進課)	27			○	○		
131	子育て支援地区活動	母子保健推進員協議会 (子ども・子育て課)	28	○					
133	PTA活動	長岡市出雲崎町小中学校PTA 連合会(子ども・子育て課)	28		○				
134	各学校のPTA事業に保育を実施	長岡市出雲崎町小中学校PTA 連合会(子ども・子育て課)	28	○					
135	単位クラブ活動	長岡市老人クラブ連合会	29					○	
136	健康維持スポーツ大会	長岡市老人クラブ連合会	29					○	
140	割り箸リサイクル事業	NPO法人地域循環ネット ワーク	29						○
142	雑古紙トレバ頒布事業	NPO法人地域循環ネット ワーク	29						○
143	資源・農業循環交流事業	NPO法人地域循環ネット ワーク	29						○
147	子どもの虐待防止ネット・にいがた学習会・講座	子どもの虐待防止ネット・ にいがた	30	○					
148	無料電話相談、無料育児相談	長岡助産師会	30	○					
149	高齢者就業機会確保事業	(公社)長岡市シルバー人 材センター	30					○	

No.	事業名	実施主体	掲載 ページ	乳幼 児期	学童 思春期	青年期	壮年期	高齢期	環境
150	相談事業	市民協働センター	31				○		
151	健康づくり支援店普及事業	長岡地域振興局健康福祉環 境部地域保健課	31	○	○	○	○		○
152	精神保健福祉相談	長岡地域振興局健康福祉環 境部地域保健課	31			○	○	○	
156	たばこ対策推進事業	長岡地域振興局健康福祉環 境部地域保健課	32			○	○		○
157	地域職域連携推進協議会	長岡地域振興局健康福祉環 境部地域保健課	32			○	○		
159	ままのまカフェへの助産師派遣事業	長岡助産師会	32	○					
160	多世代健康まちづくり事業	健康増進課	33			○	○	○	○

◆世代別 重点項目一覧

乳幼児期	①	基本的な生活習慣を身につける
	②	親子のスキンシップが十分ある
	③	家庭や地域で安心して楽しく子育てができる
学童思春期	④	望ましい食習慣を身につける
	⑤	運動を楽しみ、体力が向上する
	⑥	自分なりの目標を持ち、目標に向かって意欲を持って取り組める
青年期	⑦	生活習慣病を予防できる
	⑧	ストレスに対処できる
壮年期	⑨	糖尿病にならない又は重症化しない
	⑩	動脈硬化を予防できる
	⑪	ストレスに対処できる
高齢期	⑫	歩く機能を維持する
	⑬	くよくよせず明るい前向きな気持ちを持つ
環境	⑭	地域循環型を取り入れたまちづくり
	⑮	安全に気軽に出かけられる
	⑯	健康を支える環境の整備

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
1	相談事業	⑥ ⑧ ⑪ ⑬	人権・男女 共同参画課 (男女平等 推進セン ター)	NPO法人女 のスペース・ ながおか	ウィルながおか相談事業 ・一般相談 月曜日から土曜日(ウィルながおか開館時間) 相談員3名 ・出前相談 旧長岡市地域、各支所地域に出向き、相談を受け付ける。 相談員1名(NPO法人に委託) ・専門相談 仕事・職場の悩み相談 月2回 相談員1名	相談者総数(一般相談及び専門相談)は、26年度1,099件、27年度1,353件、28年度1,307件、29年度1,324件、30年度1,375件、令和元年度1,410件、令和2年度1,296件、令和3年度1,215件、令和4年度1,184件、令和5年度1,122(年齢不明者を含む)。 ①市民参画 一般市民向けに「夫婦・パートナーにまつわる法律セミナー」を開催。弁護士から、夫婦関係に関する問題について、一般的な解決策として役立つ法律の知識を説明。(令和5年度参加者21名) ②様々な組織や機関の連携 相談の傾向として、夫婦関係、家族関係が多く、高齢者や外国人からの相談など、内容は複雑化・深刻化している。DV案件については、長岡市DV防止ネットワーク連絡会議を組織し、長岡市配偶者暴力相談支援センターのほか警察や児童相談所、弁護士会等の専門の機関と連携して問題解決に取り組んでいる。また、市役所内の関係課がDV被害者支援連絡会議として一体となって被害者支援に当たっている。 ③環境づくり 市民には、気軽に相談できる窓口をより広く周知するため、今後もウィルながおかの事業や市政だより、市ホームページなどで広報を行っていく。また、主な市有施設の女性トイレ等に周知カードを設置して、気軽に相談につながるよう取り組んでいる。
2	各地域のコミュニティ事業	コ ミ ユ ニ テ ィ に よ り 設 定	市民協働課	スポーツ振 興課、健康 課、子ども 子育て課、 母子保健推 進員、保育 園、町内会、 子ども会、食 生活改善推 進委員ほか	乳幼児などの未就学児童を持つ若い母親を対象とした講座を開催し、子育てやしつけ、生活習慣などを学習すると共に、子育てからのストレスを解消し、地域の中に溶け込んでいけるようサポートしていく。 長岡地域：地区のコミュニティ実施事業	①市民参画 ・多くのコミュニティセンターで「親子の遊び、体操、読み聞かせ、子育て悩み相談」を実施しており、参加者が多い一方、ニーズが低い地域もある。 ②さまざまな組織や機関の連携 市の関係課(子ども・子育て課、健康課、各支所)のほか地区の各部会や子育てサークル、保育園、町内会、子ども会、母子保健推進員、食生活改善推進委員、主任児童委員、などと協力して事業に取り組んでいる。 これら団体との連携を密にすることで、活動の充実を図り、地域の活性化に繋げている。 ③環境づくり ・コミュニティセンターだより、ポスター掲示による活動紹介のほか、公式LINEなどのSNSを活用した周知も行っている。 ・関係機関と連携して事業に取り組んでいる。今後もさらに連携を強化し、内容の充実と参加者の増加を図っていききたい。 ・各講座で母親同士の繋がりができ、地域に馴染む、顔見知りになるきっかけづくりの場となっており、意義ある活動が行われている。 ・各活動について、母子保健推進員訪問活動の際に声掛けしてもらっているため、地域の認知度が高い。

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
3	地域活動事業	コミュニティにより設定	市民協働課	スポーツ振興課、健康課、長寿はつらつ課、小学校、地域の町内会、老人クラブ連合会、福祉会、スポーツ協会ほか	子どもから高齢者まで、からだを動かすことの楽しさ、体力の向上を目指しながら、仲間を作りあげていくことにより、日常のストレスに対処し、健やかな生活習慣を身につけていく。 長岡地域：地区のコミュニティ実施事業	①市民参画 ・参加しやすく多世代交流できるウォーキングは例年人気のある事業となっているが、参加者(特に子ども)が減少傾向にある。 ・コロナ禍を契機に活動をやる教室やサークルがあったが、コミセン主催事業から新たにサークルを立ち上げ、継続して活動している。 ②さまざまな組織や機関の連携 ・市の関係課(スポーツ振興課、健康課、長寿はつらつ課、社会福祉協議会など)のほか地区のJAや各部会、スポーツ協会、町内会、小中学校PTA、地区スポーツサークル、老人クラブ連合会、食生活改善推進委員、母子保健推進員、スポーツ推進委員、スポーツ普及員らと協力して事業に取り組んでいる。今後も、地域の力をさらに生かしていける事業展開を行っていききたい。 ・地域の小中学校との連携を大切にして、事業への協力やPRを行っており、いずれの地区もこれら団体との日頃からの繋がりを重要視している。 ③環境づくり ・コミュニティだより、町内回覧、ロコミを通して参加者の増加に努めた。 ・参加者の固定化が課題で、新規の方(特に男性)が参加しやすいように回覧、声掛けの工夫に努めたい。 ・参加者の高齢化が顕著で、コロナ禍を経てさらに参加者数の減少が見られるが、関係団体等と連携をしながら、地域の方々に関心を持ってもらえる事業を企画したい。 ・明治安田生命の健康づくり講座の開催や血管年齢測定を取り入れるなど、新たな取組みにより地域住民の興味関心を高めるよう努めた。 ・若い世代にも参加いただけるよう、SNS活用など広報を工夫したい。
5	生涯学習推進・相談事業	⑪	文化振興課		長岡市人材登録バンク「まちの先生」により、学んだことを生かす環境づくりを行う。 市民の生涯学習活動の推進をめざして、団体・サークル情報を広く募集し、紹介している。 市民への生涯学習の情報提供及び相談については、中央公民館、まちなかキャンパス長岡及び社会教育関係施設において行なっていく。	壮年期において、余暇を有効に生かすこと、趣味の世界を広げることは、ストレスの解消に有効。 以下のとおり市民に対して広く情報提供に努めている。 まちの先生：151人・団体(令和6年6月1日時点) 生涯学習ガイドブック：600団体(令和6年5月21日時点)
6	家庭教育活動事業	② ③ ⑥ ⑧	子ども・子育て課		子どもたちが、いきいきと力強く育つよう、社会や家族の変化、価値観の多様化等、子どもたちを取り巻く状況を知り、それらに対応する家庭教育のあり方を学ぶ学習の機会を提供し、家庭教育力を高める。 《親も育つ子育てセミナー》 ①講座(全4回) 受講者 延べ83人 ②講演会(全2回) 参加者 268人 ③WEB講座(1回) 受講者 276人	【重点②③⑥】 幼児及び小・中学生をもつ親や家庭教育に関心のある方が、さまざまな家庭教育の課題と向き合いながら、どう対応するかを学べる講座として4講座を開催し、延べ83人の受講があった。コロナ禍ならではの課題も多く、受講者の皆さんは講師のお話を聞くことで、安心したり、安堵したりした様子が感想等から見られた。 また、参加しやすい環境づくりのため、保育ボランティアによる幼児保育サービスを実施した。 小学生の親子向けに開催したWEB配信講座については、子育てしながら好きな時間に受講できるため、隙間時間に見ることができて良かったや、家族で受講することができて良かった等の意見が見られた。 【重点⑧】 講座の受講生は、30歳～40歳代が主。講師との質疑応答が毎回活発に行われ、子育ての悩みやストレス解消の貴重な機会となっている。

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
8	地域交流スポーツ大会	⑪	スポーツ振興課	長岡市スポーツ推進委員連盟	地域(小学校区)住民によるスポーツ活動の活性化、地域の一体感の醸成及び地域のスポーツ愛好者の交流促進を目的として、各地域で編成したチームによるスポーツ大会を開催。 種目は地域で親しまれるグラウンド・ゴルフ、卓球、バドミントン等。 地域のスポーツ活動を推進する長岡市スポーツ推進委員連盟と共同主催している。	11種目に1,715人が参加し、大会開催により日常的なスポーツ活動の活性化等に繋がった。 大会は、地域スポーツ活動を推進するスポーツ推進委員連盟と共同主催しており、大会要項検討から当日運営まで、スポーツ推進委員が中心となって行っている。大会終了後は参加者アンケートの結果に基づき、運営方法や日程等の改善を毎年継続して行っている。 今後はニュースポーツの普及や普段運動をしない人達へのアプローチ方法などを検討していきたい。
9	地域スポーツクラブ育成事業	⑦ ⑨ ⑩	スポーツ振興課	長岡市スポーツ推進委員連盟	地域スポーツ活動の推進母体となる組織の育成や充実に要する経費について、5万円を上限に補助金を支出するほか、地域スポーツ活動推進の中核となるスポーツ推進委員・普及員の資質向上のための研修会などを実施することで、指導者や地域スポーツ団体の育成に努める。	各地域では757のスポーツ教室やクラブが活動を行った。また、410人のスポーツ推進委員・普及員が地域を中心に活動しており、研修会(13回開催)等を通じて資質向上を図っている。 地域スポーツ活動の推進に取り組む17団体へは、補助金の交付により活動支援を行った。 働き盛りの世代や若者世代が、身近な地域でスポーツ活動に継続して参加できるよう、引き続き地域スポーツ活動の推進母体への継続的な支援、スポーツ推進委員連盟と連携した研修会の開催、コミュニティスポーツクラブのない地域へのクラブ化の働きかけ、支援などを進めていきたい。
10	生涯スポーツ推進事業	⑤	スポーツ振興課	(公財)長岡市スポーツ協会	学童期、それ以前の乳幼児期の子どもやその保護者を対象としたスポーツ活動の実施については、(公財)長岡市スポーツ協会と連携しながら、コーディネーショントレーニングをはじめとした多様な動き作りを指導できる指導者の育成をすることで、スポーツ好きな元気な子どもたちの育成に努めている。 また、スポーツ協会傘下の競技団体が実施するジュニアスポーツクラブやスポーツ少年団の育成などの活動支援を通じた青少年スポーツ活動の推進を行っている。	出前スポーツ教室は、50回の開催で2,058人の参加があった。(小学校関係のみ) スポーツ少年団の登録については93団体、1,511人の登録があった。 コロナ禍が開け、思い切り体を動かすことができなかった期間が影響し、興味関心、意欲低下が課題となっている。 (公財)長岡市スポーツ協会と連携し、出前スポーツ教室、スポーツ少年団のほか小学校の体育館を会場とした放課後こどもスポーツクラブを実施し、楽しみながら体を巧みに動かすコーディネーショントレーニング運動の推進、長岡市スポーツ推進委員連盟と連携したスポーツ鬼ごっこなど新しい種目の提供を継続して実施した。また小学校だけでなく保育園と連携して運動遊びによる運動習慣の定着を図るなど、スポーツ好きな元気な子どもたちの育成に取り組んだ。

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
11	バリアフリーのまちづくり(新潟県福祉のまちづくり条例)	⑮	福祉総務課	建築・開発 審査課	<p>■条例の目的:すべての県民の自由な活動と社会参加を促進するために、県民の理解のもとに、高齢者、障害者等が安全かつ快適に地域で生活できるような生活環境を図る施策を推進する。</p> <p>■条例の内容:多数の人が利用する建物、施設等の整備について一定の基準を設ける。(便所、廊下、エレベーター、駐車場、歩道等)事業者は建築確認申請時に事前協議を行ったうえで整備を進め、市が事業者に助言、指導を行う。</p> <p>■県から市への事務委任:次の業務について、住民に最も身近で地域行政を担う市の役割が重要であることから県条例により市町村事務(県条例による事務処理特例制度)とする。</p> <p>①事前協議の受理及び指導・助言 ②工事完了届けの受理及び完了検査 ③整備基準適合証の交付 ④既存施設の状況把握及び指導・助言 ⑤公共的施設所有者への勧告及び公表</p>	<p>事前協議の受理(令和5年度実績) 協議件数16件、うち適合件数1件 ・新潟県福祉のまちづくり条例に基づいて行っている。</p>
12	民生委員活動	⑬	福祉総務課	長岡市民生委員児童委員協議会 長岡市社会福祉協議会	<p>民生委員・児童委員は、関係町内会等からの推薦のもと、市推薦会、県を通じて厚生労働大臣から委嘱され、民生委員法その他の関係法令により、地区民生委員児童委員協議会(民生委員法により一定の区域ごとに組織する)を母体にその職務に当たっている。特に地域社会から孤立しがちな高齢者に対しては、民生委員という存在のPRや相談できる場の確保が重要となっている。各地区とも、高齢者が明るく前向きに暮らしていけるよう、地域コミュニティ組織等とも連携のうえ様々な取り組みを行っているが、地区間同士の連携も含め、拡充に向けて必要な支援を行う。</p>	<p>・全国規模の研修会も含めた外部研修会への出席や市民児協の部会・委員会、全体研修会、機関誌の発行等の活動により民生委員・児童委員の資質向上を図っている。</p> <p>・各地区の民生委員児童委員協議会と地区福祉会、地域包括支援センター等は密接に連携して地域福祉活動に取り組んでいるが、町内会などの地域コミュニティについては、地域の住民意識にばらつきがあり、今後も連携を深めていく必要がある。</p> <p>・避難行動要支援者名簿の郵送調査のための高齢者世帯の訪問活動や要援護世帯除雪費助成事業の申請受理等の活動により担当地域の支援を必要とする世帯の状況把握を行っている。</p> <p>・全国的な取り組みにあわせ、各地区民生委員児童委員協議会ごとにチラシやPRカードを活用しながら、地域住民に対して活動のPRを行い、相談しやすい関係作りに努めている。</p>
13	心身障害者スポーツ教室	⑧ ⑪	福祉課		<p>障害者を対象としたスポーツ教室が少ない状況にあることから、次のスポーツ教室を開催し、障害者の身体機能の維持・向上及び社会参加の促進を図っている。</p> <p>・障害児・者のための水泳教室(計5回)(R2～5年度中止) ・ハンディテニススクール(計5回)</p>	<p>水泳教室は、新型コロナウイルス感染防止のため、中止。 ハンディテニススクールでは、親子での参加など10代から70代までの幅広い参加があった。参加者が固定化しつつあるも、連続した講座により参加者の身体機能の維持・向上につながっている。また、体を動かす中で心もほぐれ、参加者同士のコミュニケーションも図られている。</p>
15	ハンディスポーツレクリエーション講習会	⑧ ⑪	福祉課		<p>パラスポーツの普及と人々の交流の場としてポッチャの体験会を行う。</p>	<p>障害の有無に関わらず広く参加者を募り、初心者でも楽しめるようにルールを簡単にして体験会を行った。 地域の団体での申し込みもあり、障害の有無や年齢、性別に関係なくポッチャというパラスポーツを通じて人々の交流が行われ、障害者の社会参加と市民の障害理解を深めることにつながった。</p>

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
24	介護予防事業	⑫	健康増進課 長寿はつらつ課	・福祉総務課 ・地区コミュニティセンター ・地域包括支援センター	<p>一般介護予防事業:65歳以上の全ての高齢者を対象に、介護予防に関する教室や講座を開催するほか、はつらつ広場や介護予防サークルなどの地域活動の支援を行う。</p> <p>○介護予防普及啓発事業</p> <p>・運動機能向上事業 はつらつ教室、健幸長寿学のすすめ、フェニックスシルバースポーツクラブ、つきイチひろば、運動機能向上講座(単発)</p> <p>・認知症予防事業 月イチ脳活、スクエアステップ教室、認知症予防講座(単発)</p> <p>・栄養改善・うつ予防・口腔機能向上等事業 一般・ハイリスク向け短期継続教室、栄養改善・うつ予防・口腔機能向上等講座(単発)</p> <p>○地域介護予防活動支援事業 サークル支援、サポーター養成・派遣、はつらつ広場支援事業</p> <p>介護予防・生活支援サービス事業:要支援1・2又は、事業対象者(基本チェックリスト該当者)で介護予防ケアマネジメントにより各サービスが必要とされた人へ、生活機能改善を目的にサービスを行う。</p> <p>○くらし元気アップ事業 ○短期集中レベルアップ事業 ○筋力向上トレーニング事業</p>	<p>・介護予防事業における運動機能向上事業では教室参加によって転倒への不安感の軽減、歩くことや運動を続けることへの自信の向上、さらに主観的健康感の改善につながっている。また、軽度要介護出現率の割合は国、県と比べても低い。</p> <p>・令和5年度の普及啓発事業の参加延べ人数は約7,000人、地域介護予防活動支援事業の通いの場団体数は341団体である。今後さらに、市民が新たに介護予防に取り組めるよう普及啓発を図り、地域で継続して介護予防に取り組めるよう支援するため、地域での取組を強化する。</p> <p>・介護予防事業従事者研修会の継続実施により従事者の質の確保に努める。</p> <p>・事業の効果について評価を行い、介護予防事業の効果的な実施を図る。</p> <p>・介護予防・生活支援サービス事業の参加延べ人数は、くらし元気アップ事業が20,787人、短期集中レベルアップ事業が1,745人、筋力向上トレーニング事業が443人であり、事業評価からは特に下肢への効果が見られている。今後も適切な時期に適切なサービスに繋がられるよう務める。</p> <p>・事業の効果について評価を行い、介護予防事業の効果的な実施を図る。</p>
27	環境学習・啓発 推進事業	⑭	環境政策課		<p>地球温暖化防止をはじめ様々な環境問題を解決し、持続可能な社会をつくるため、環境保全に関する啓発事業を実施するとともに、環境に関する意識を高めるための学習会・講座、各種イベントなどを利用して啓発を行う。</p>	<p>地球温暖化対策や自然環境に関する講座やイベントを計30回実施し、延べ1,526名の参加があった。</p> <p>【内訳】</p> <p>○トキと自然の学習館(「生き物調査隊」・「冬の鳥調査隊」)</p> <p>トキと自然の学習館『トキみ〜て』での学習や生き物とのふれあい等を通して自然環境保全について考える機会を創出した(2回・26名)</p> <p>○花いっぱいフェア出展 間伐材でマイ箸づくりを実施し、間伐の目的や効果を知ってもらうとともに、間伐が地球温暖化防止活動のひとつであることを考える機会を創出した(2日間210名)</p> <p>○地球温暖化対策講座(市内小学生とその保護者を対象) 地球温暖化への理解を深めるとともに、家庭でもできる取り組みについて啓発した(全18回・1,001名)</p> <p>○SDGs環境啓発・教育事業(市内園児・児童とその保護者を対象) NPO法人市民協働ネットワーク長岡に委託し、地球温暖化、SDGsに関する講座とイベントを実施。市内NPOと連携したイベントや市内NPOの活動を事例に、SDGsを身近な目線、広い目線の両方で環境に対して考える機会を創出した。(環境啓発イベント全2回・36名)(環境教育講座全5回・195名)</p> <p>○企業向け環境啓発研修会 新潟県産業資源循環協会長岡支部及び中越地区環境保全協議会との共催による企業向け合同研修会「SDGsとカーボン・オフセット:環境と経済への双方向影響」を12月20日(水)、リリックホールシアターで開催した。研修会では、SDGsとカーボン・オフセットの仕組みや、金融機関における脱炭素経営に役立つ取組について講演が行われ、脱炭素社会の実現に向けた事業活動やCO2排出量の可視化サービスや太陽光設備導入支援サービスなど、脱炭素社会の実現に向けて理解を深めることができた。(1回・58名)</p>

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
29	基本計画の推進	⑭	環境業務課		平成30年度から令和9年度までの新たなごみ処理基本計画に基づき、市民・事業者・行政の役割分担など、環境問題に対する意識高揚を図ることにより、ごみの減量とリサイクルを推進する。	平成26年度から、市が実施主体となり資源物拠点回収事業を本格実施。常設型は8か所、サテライト型は4か所12回、合計実施日数101日(土日の9:00~12:00、一部会場は決められた期日) 受付件数 48,388件、回収量 618,579kg ごみとして排出され、焼却・埋立処分してきたものを「リユース」「リサイクル」した。
30	ごみの有料化によるごみ改革事業	⑭	環境業務課		平成20年4月から「家庭ごみの一部有料化」を全市域に適用して、ごみの減量とリサイクルを推進してきたが、平成25年からは新たに「生ごみ」を分別収集して生ごみバイオガス発電を開始し、環境への負荷を低減するとともに、健康的で快適な生活環境を確保する。	令和3年度と同様の分別でごみと資源物を収集。 今後も環境負荷の低減に向けて、ごみの減量に取り組んでいく必要がある。
31	リサイクル協力店の市民への紹介	⑭	環境業務課		ごみの減量とリサイクルの推進に向けて、市民、事業者、行政が、その責務と役割分担を明確にしたうえで協力していくことが大切なため、「長岡市ごみ減量・リサイクル協力店」への認定事業所の拡大を図るとともに、市民への情報提供により、その利用促進を図る。	ごみ減量・リサイクル協力店制度について、市民からの問い合わせに対してはリサイクル協力店を案内して利用促進に向けた働きかけを行った。 令和5年度末時点でのごみ減量・リサイクル協力店は42店舗。 今後も引き続き、パンフレットを利用しながら、市民や企業へ制度内容を周知するとともに、その活用を促進していく必要がある。
32	市政だより・環境情報誌発行	⑭	環境業務課 環境政策課 (環境情報誌部分)		ごみ減量、リサイクルの推進に向けた情報を細やかに発信するため、市政だよりや環境情報誌を活用して、市民意識のさらなる高揚を図る。	市民に対して正しいごみの分別方法やごみに関してきめ細やかに情報提供を行うため、市政だよりへの記事掲載や、環境情報誌を発行。令和5年度は、地域循環型社会・脱炭素社会を実現するための生ごみ分別への協力や、食品ロス削減の周知のため、環境情報誌を2回発行した。 今後も市政だよりや環境情報誌を通じて、ごみ処理の現状や市のごみの減量・リサイクルの取り組み、ごみ出しルール等の周知啓発を図る必要がある。
33	堆肥化容器購入への助成	⑭	環境業務課		ごみの減量への取り組みとして、生ごみなどを堆肥化して処理するために「堆肥化容器」を購入する市民に対して、その購入費を補助する。	平成25年度が生ごみの分別収集開始後も、家庭で取り組める堆肥化容器の購入費補助は継続しており、令和5年度の補助実績は77台(累計13,210台)であった。ごみを自家処理しごみの減量に取り組む市民を支援するため、今後も補助制度を継続する。
34	ニート等の若者の就労支援事業	⑧	産業立地・人材課	長岡地域若者サポートステーション	働くことや、社会活動に参加すること、人とのコミュニケーションが苦手などの若者に対して、相談や職業訓練などを行うことにより、最終的には就労へ結びつけることを目的に支援事業を実施する。 【事業概要(令和5年度)】 これまでのニート等の若者の就労支援に加え、就職氷河期世代を含めた、幅広い年齢層に対する支援を行う。 引き続き、長岡地域若者サポートステーションと連携しながら、就労支援を実施していく。	○就職に向けた就活セミナーやビジネスマナー、ジョブトレーニング等の各種プログラムを実施したほか、軽スポーツやコミュニケーショントレーニングなど、体力増進や対人面の不安を取り除くプログラムを実施した。 ○相談延べ数は3,345件、プログラム参加者数は延べ2,587人、ジョブトレーニング参加者数は343人。 ○若者の居場所を設置し仲間とのコミュニケーションを深めたり、オンラインでの相談も受けるなど、臨床心理士によるメンタルヘルス対策も行っている。

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
38	ながおか地消地産推進店「ばくばくさんのお店」の展開	⑭	農水産政策課		<p>安全安心な地場産農産物を積極的に使用する飲食店・直売所等をながおか地消地産推進店「ばくばくさんの店」として登録いただき、統一キャラクター等によるPRを通じて市民の需要喚起を促し、地場産農産物の生産拡大を図る。</p> <p>また「ばくばくさんの店」に対し、ばくばくマルシェ(6月～11月にアオーレ長岡で開催)などへの出店を呼び掛け、長岡産食材のブランド力の強化促進と消費者への積極的なPRを行うことにより、長岡産食材の消費需要の拡大と生産の拡大を図る。</p> <p>【事業概要(令和5年度)】 “まちなか”における地消地産のPRや賑わい創出等、行政としての目的はひととおり達成したと考えられることから、今後は、ながおか地消地産推進店が主体となって、マルシェ等の開催や出店ができるよう支援をする。</p>	令和5年度の登録店数は92店であり、前年(94店)から2店減となった。農業者や地消地産推進店が主体となり、みんなのやさしいマルシェが開催された。
39	長岡市交通バリアフリー基本構想推進事業	⑮	交通政策室(都市政策課)		<p>移動円滑化が図られるよう公共交通のバリアフリー化の推進を図る。</p> <p>令和5年度の事業概要 ・ノンステップバス導入補助(実績なし)</p>	<p>・公共交通機関を利用した移動の利便性及び安全性の向上の促進を図るため、公共交通移動円滑化設備整備事業を行う事業者に対し、市から補助金を交付し、移動円滑化を図っている。</p> <p>・R5年度は、ノンステップバスの導入がなかったため、補助金交付は行っていない。</p> <p>R5年度から市の補助金交付対象にノンステップバスのリース事業者を追加した要綱改正を行い、車両導入の促進を図った。</p> <p>・バリアフリー新法に基づき、移動等の円滑化が図られたバス・タクシー車両の導入がさらに促進されるよう、国の地域公共交通確保維持改善事業を活用し、関係事業者と調整を図っていきたい。</p>
41	雪道計画推進事業	⑮	道路管理課	国土交通省 長岡国道事務所 新潟県長岡地域振興局	<p>「雪みち計画」設定エリア内の幹線道路等について、関係機関や地元関係者からなる「雪みち計画推進協議会」に諮ったうえで、歩道除雪等の実施路線を決定し、冬期間の安全・安心な歩行者空間確保を推進する。</p> <p>令和5年度の歩道除雪延長 … 225.2km(前年比 +33.9km)</p>	<p>計画的に事業を推進するため、国・県・市・学校などの関係機関及び地元関係者が連携し、「雪みち計画推進協議会」を開催している。</p> <p>歩行者の安全確保のための協議調整を行うことにより、地域の実情に合った除雪体制を構築しているが、豪雪時や明け方の急な降雪については、より柔軟に対応し「きめ細かい」除雪の実施を推進する必要がある。</p> <p>令和5年度は少雪だったが、適切なタイミングでの除雪を行い、歩行者空間の確保に努めた。</p>

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
42	通学路歩道等消雪施設整備事業	⑮	道路管理課		小学校の周辺の通学路の歩道に消雪パイプを設置し、冬期間における児童の安全な通学路を確保する。令和元年度から、新たに支所地域や中学校にも対象を拡大し、通学路に歩道消雪パイプを整備する。 【令和5年度事業概要】 実施事業なし 【令和6年度事業予定】 1校(堤岡中学校)	今後も計画的に児童・生徒の安全な通学路を確保する。 令和5年度に実施事業はなかったが、令和6年度に堤岡中に整備する予定。
43	(小学校における)環境教育	⑭	学校教育課		小学校の社会科や総合的な学習の時間などで、生ごみバイオガス化などによるごみの減量化や分別の推進等、環境についての学習を行い、環境教育の充実を図る。	学校での環境学習や環境衛生センター見学等により、分別やリサイクルなど、ごみ減量化への意識が高まっている。施設見学を行い、環境問題に対する意識を高めた。
44	環境学習・啓発推進事業	⑭	学校教育課		小・中学校の総合的な学習の時間・特別活動などで環境教育を行い、生ごみバイオガス化等によるごみ減量化や分別等の啓発推進を図る。	学校への働きかけにより、各学校が全校体制で環境問題に取り組んだ結果、分別やリサイクルなどごみ減量化への意識が高まり、クリーン作戦や町をきれいにしよう等の具体的な行動が続いている。
45	適応指導教室	⑥	学校教育課		小・中学校の児童生徒のうち、不登校等で学校生活に適應できない児童生徒に対し、学校生活への復帰や社会的自立を支援することを目的とする。	長岡フレンドリールーム、栃尾やまびこルーム、寺泊はまちゃん教室、おぐに日だまりルームの4ヶ所合わせて62名の児童生徒が通級し、そのうち3名が登校する又はできるようになった。現在、教育委員会内の相談機関が連携をとりながら、学校不適應児童生徒の相談にあたり、早期の段階で、訪問相談の実施、適応指導教室への入級などの対応にあたっている。

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
46	熱中！感動！夢づくり教育推進	⑥	学校教育課	中央図書館、科学博物館、子ども子育て課、子ども家庭センター、保育課、ミライ工長岡企画推進室、文化振興課、スポーツ振興課、健康増進課、環境政策課、国際交流課、農水産政策課、予防課、ながおか・若者・しごと機構、まちなかキャンパス長岡運営協議会、長岡市米百俵財団、長岡市芸術文化振興財団、長岡市スポーツ協会、長岡市国際交流協会	<p>【事業概要(令和5年度)】 全65事業実施 夢を描き志を立てて生き抜く力を育むことを目的に、オール長岡で実施する、子どものやる気や学ぶ意欲を引き出す4つの方策を展開する。</p> <p>方策Ⅰ「確かな学びを実現する学校・園づくり」 ・教育環境を充実し確かな学力の育成を図る事業(5事業) ・教職員・保育士の資質・指導力の向上を図る事業(6事業)</p> <p>方策Ⅱ「子どもの個性・可能性を伸ばす学びの場づくり」(8事業)</p> <p>方策Ⅲ「子どもが熱中・感動する豊かで多様な体験づくり」 ・自然・科学体験(12事業) ・スポーツ体験(4事業) ・芸術・文化体験(9事業) ・地域体験(4事業) ・社会体験(8事業)</p> <p>方策Ⅳ「子どもの育ちをしっかりと支える土台づくり」 ・子育て・幼児教育を支援する事業(4事業) ・家庭教育を支援する事業(5事業)</p>	<p>感染症対策をしっかりと行いながら65事業を実施した。熱中・感動体験を通して、様々な人と触れ合い一緒に活動した結果、やる気や学ぶ意欲を引き出し、子どもの興味関心が幅広い分野に広がりを見せ始めている。</p> <p>また、学校と地域が連携する機会が増え、ALL長岡で子どもを育てることができてきている。</p>
49	教育相談・訪問相談	⑥	学校教育課		<p>教育相談(子ども・青少年相談センター、子どもサポートカウンセラー) ・相談内容:いじめ、不登校、学習・行動・対人関係、発達、ひきこもり、就労等 ・方法:子ども、保護者、教職員との面接相談、電話相談、メール相談、オンライン相談</p> <p>訪問相談(長岡フレンドリールーム、栃尾分室、寺泊分室、小国分室) ・対象者:教育支援教室に通級が難しい児童生徒、家庭に引きこもりがちな児童生徒 ・方法:家庭を訪問し、児童生徒や保護者に対するの支援・相談</p> <p>【事業概要(令和5年度)】 令和2年度より「子ども・青少年相談センター」として施設を再編し、高校生をはじめ、20歳未満の相談体制を整備している。</p>	<p>面接相談を中心に、相談者の悩みに寄り添うことを第一に考え対応している。最終的には、対象児童・生徒の自立が目標である。</p> <p>相談事例の深刻化、複雑化が進行しており、他の機関との連携を視野に相談を進める事例が増加している。</p> <p>来所相談とは別に、学校訪問支援という形で、指導主事(相談員)が学校に出向き相談にのるケースもある。</p>

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
50	体カテスト	⑤	学校教育課		各学校においては、体カテストの結果を分析して自校の課題を明らかにし、改善及び向上に向けて創意工夫を凝らしながら、「体育」「保健体育」の授業をはじめとするすべての教育活動で取り組む。	(1)全国や県との比較から、これまで同様、当市の児童生徒は男女ともに高い体力水準を維持している。「1学校1取組」運動の実施など、各学校が児童生徒の実態に応じて計画的・継続的な取組を行ったり、活動内容を工夫したりしていることで、成果が上がっていると考えられる。 (2)令和4年度との比較では、小学生、中学生の男女ともに、半数の種目で前年度の記録を下回っている。ただし、「20mシャトルラン」や「50m走」では男女ともに記録が向上した。昨年度までは、令和2～3年度の活動制限などによる運動量の減少のため、持久力の低下が見られたが、徐々に回復傾向にあると推察される。 <参考>全国体カテスト 実施学年 小学校5年 中学校2年 実施種目 8種目 ・握力 ・上体起こし ・長座体前屈 ・反復横とび ・50m走 ・シャトルラン ・立ち幅跳び ・ボール投げ
51	学校教育(運動)	⑤ ⑥	学校教育課		進んで運動に取り組む児童生徒を育て、児童生徒の体力の向上を目指した授業展開に努めている。児童生徒が自分たちでルールを考えたり、仲間と協力して学習を進めたりするなど、支援の工夫を教師が積極的に実施し、生涯にわたって運動に親しもうとする資質や能力を育てている。	【重点⑤】 各学校では児童生徒の運動機会を確保するため、授業に遊びの要素を取り入れたり、ゲームを行ったりするなど、児童生徒が運動に親しみながら基礎体力の向上に努めることができるよう工夫している。 【重点⑥】 「体育」や「保健体育」の授業では、学習カードに自分のめあて・目標を書かせるなどして、一人ひとりが目標をもって運動に取り組むことができるよう努めている。また、授業を通して、児童生徒がそれぞれの運動の特性に触れ、体を動かしたり、仲間と協力して運動したりすることの楽しさや心地よさを味わうことができるよう、各校において授業内容を工夫している。
53	ふれあいスポーツアシスタント事業	⑤	学校教育課	長岡市スポーツ協会	児童のスポーツへの興味・関心を高め、技能定着や体力向上を目指し、体育授業の活性化を図るため、小学校の体育授業に公益財団法人長岡市スポーツ協会のスポーツ指導員等を派遣する。 【事業概要(令和5年度)】 (1)コオディネーション運動コース ① 実施時期 令和5年6月～令和6年2月 ② 実施校 希望する市立小学校のうち11学級(8校) ③ 内容 コオディネーショントレーニングを含む体づくり運動を中心とする6回の指導コース体験(その他、打合せと事例検討会)を実施。 (2)種目アシストコース ① 実施時期 令和5年6月～令和6年2月 ② 実施校 希望する市立小学校のうち15学級(11校) ③ 内容 陸上運動、器械運動、表現運動等の種目について集中的にスポーツ指導員を派遣する。1種目の派遣上限4回とし、15学級で実施。	①市民参画 隔年全小学校で実施してきた「ながおか元気ッズプログラム」を希望制の「コオディネーション運動コース」に変更し、希望制の「種目アシストコース」を追加して実施することで、各学校のニーズに対応して実施することができている。 ②様々な組織や機関の連携 小学校の体育授業に、専門的な知識や経験、技能を持つ公益財団法人長岡市スポーツ協会のスポーツ指導員や専門スタッフをアシスタント指導者として派遣することにより、児童に様々な動きや運動を体験させたり、運動への興味・関心を高めたりすることができている。
54	学校給食推進活動(給食だよりの発行や栄養指導を含む)	④	学務課	各校	学校給食を管理運営し、健康教育(給食だよりの発行や栄養指導含む)を家庭や地域と連携を図りながら実施する。	①市民参加 給食だよりは学校ごとに全家庭に配布または校内に掲示(8月を除く毎月1回、特別号年2回の計13回)した。栄養や旬の食材、給食メニューのレシピ紹介に加え、時期に応じた健康指導等情報発信している。 ②さまざまな組織や機関の連携 保護者を対象とした試食会を実施した。 ③環境づくり 栄養教諭等と担任及び養護教諭がチームを組み、通常授業と連携した食の指導を行っている。教職員内の食に関する知識の共通理解を高めている。

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
55	学校保健推進活動	④	学務課	各校	保健教育、保健管理活動を家庭や地域の関係機関等と連携を図りながら実施する。	①市民参画 各学校では、食に関する指導の全体計画に基づき、食に関する指導と関連付けて、各教科・特別活動・総合的な学習の時間・給食の時間等において、基本的な生活習慣の確立のための指導を実践した。 ②さまざまな組織や機関の連携 各学校では、野菜の栽培活動、食に関する講演会、学校保健委員会等の活動をおとして、子どもの望ましい食習慣の定着について、家庭や地域との連携を図った取組を行った。
56	ブックスタート	② ③	子ども・子育て課	・図書館 ・読み聞かせボランティア ・ブックスタート推進ワーキンググループ	・赤ちゃんとまわりのみんなが絵本を通して楽しい時間を分かち合うことを応援する事業 ・平成15年10月から開始(平成15年4月生まれの赤ちゃんから対象) ・生後5～7か月の赤ちゃん相談の際に同時実施 ・読み聞かせボランティア及び図書館司書が読み聞かせの実演を行ない、絵本1冊とアドバイス集を手渡し、「地域みんなで子育てを応援していますよ」などのメッセージを伝える。 ・赤ちゃんと絵本の楽しさを分かち合うことの大切さや喜びを伝えるとともに、ブックスタートをきっかけに父親が積極的に子育てに関わる環境づくりを進めることも狙いとしている。 ・平成30年5月より、まちなか絵本館で月2回(原則第2土曜日・第3日曜日)実施。 【事業概要(令和5年度)】 ・新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で、読み聞かせボランティアによる読み聞かせの実演を行い、絵本1冊とオリジナルチラシを手渡し。	【重点②】 新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で、第1子の親子と第2子以降の希望する親子に対し、ボランティアによる読み聞かせの実演を行った。絵本選定の際、絵本を見ながら赤ちゃんと保護者が言葉を交わしたり、スキンシップしながら楽しい時間を過ごせるような絵本を紹介し、絵本の楽しさを体験してもらうことで、家庭での読み聞かせのきっかけづくりを行った。(赤ちゃん相談:全6会場 52回実施 参加者1,357人 まちなか絵本館:参加20人) 【重点③】 図書館と連携し、ブックスタートを通して絵本の楽しみ方のアドバイスや「地域みんなで子育てを応援していますよ」などのメッセージを伝えた。今後は、父親の読み聞かせの推進と、ボランティアの確保が課題である。 ◆「読み聞かせボランティア養成講座」年1回開催(中央図書館主催)
58	長岡市ファミリー・サポート・センター会員養成講習会	③	子ども・子育て課		ファミリー・サポート・センターの新規会員の確保と資質向上を図るため、会員養成講習会を開催する。 内容 ・センター事業のあらまし ・心の発達とその課題 ・保育の心 ・子どもの身体の発育と病気 ・子どもの栄養と食生活 ・子どもの事故と防止策 ※ファミリーサポートセンター・・・ 家庭や働く親の育児負担の軽減と仕事との両立を支援するため、専任の職員を配置し、相互援助活動(会員の紹介)及び会員相互の交流会等の事業を行う。	○6講座を1シリーズとして年3回開催 参加者数:延べ28人 ○会員入会状況:合計 1,215人 (提供会員:273人、依頼会員:899人、両方会員:43人) 市内の看護学校講師や栄養士、保育士、臨床心理士などに講師を依頼し、提供会員としての資質向上を図っている。支所地域への事業周知・活動展開と新規会員確保が課題であるため、引き続き事業の周知に努めていく。

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価																																																																						
59	子育ての駅運営事業	① ② ③ ④ ⑤	子ども・子育て課		雨や雪の日でも遊べる屋根付き広場と子育て支援機能が一緒になった「子育ての駅」では、子育て世代はもちろん、子育ての先輩や次代の親となる若者などが集い、世代を越えた交流や子育て支援の輪を広げる場として、子育て支援関係団体等と協働・連携しながら事業運営を行う。 平成21年5月に「子育ての駅千秋(てくてく)」を開設するとともに、平成22年4月には「子育ての駅ながおか市民防災センター(ぐんぐん)」を開設。同年8月には「ちびっこ広場」が新たに絵本機能を有した施設として移転オープン。その後、平成24年7月には「子育ての駅とちお(すくすく)」を開設した。また、平成27年度に、長岡市全支所地域に子育ての駅の整備を進め、平成27年12月に子育ての駅みしま、平成28年1月に子育ての駅なかのしま、こしじ、やまこし、おぐに、てらどまりを開設した。平成28年4月に子育ての駅わしあ、よいた、かわぐちを開設。 各施設ともに立地条件や周辺環境を生かしながら特色ある事業展開を行っている。	R5年度実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>来場者数 (人)</th> <th>相談活動 (回)</th> <th>講座開催 (回)</th> <th>行事開催 (回)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育ての駅ちびっこ広場</td> <td>31,829</td> <td>12</td> <td>103</td> <td>147</td> </tr> <tr> <td>子育ての駅千秋「てくてく」</td> <td>97,873</td> <td>15</td> <td>188</td> <td>183</td> </tr> <tr> <td>子育ての駅ながおか市民防災センター「ぐんぐん」</td> <td>41,072</td> <td>10</td> <td>167</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>子育ての駅なかのしま「なかのんひろば」</td> <td>1,714</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>子育ての駅こしじ「のびのび」</td> <td>1,817</td> <td>0</td> <td>16</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>子育ての駅みしま「もりもり」</td> <td>3,921</td> <td>0</td> <td>17</td> <td>142</td> </tr> <tr> <td>子育ての駅やまこし「やまっこ」</td> <td>463</td> <td>12</td> <td>6</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>子育ての駅おぐに「たんぼぼ」</td> <td>1,628</td> <td>0</td> <td>9</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>子育ての駅わしあ「わくわく」</td> <td>1,361</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>子育ての駅てらどまり「にこにこ」</td> <td>1,442</td> <td>0</td> <td>12</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>子育ての駅とちお「すくすく」</td> <td>4,541</td> <td>24</td> <td>16</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>子育ての駅よいた「にじの子広場」</td> <td>2,395</td> <td>24</td> <td>4</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>子育ての駅かわぐち「すこやか」</td> <td>1,772</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>69</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	来場者数 (人)	相談活動 (回)	講座開催 (回)	行事開催 (回)	子育ての駅ちびっこ広場	31,829	12	103	147	子育ての駅千秋「てくてく」	97,873	15	188	183	子育ての駅ながおか市民防災センター「ぐんぐん」	41,072	10	167	103	子育ての駅なかのしま「なかのんひろば」	1,714	12	10	77	子育ての駅こしじ「のびのび」	1,817	0	16	83	子育ての駅みしま「もりもり」	3,921	0	17	142	子育ての駅やまこし「やまっこ」	463	12	6	33	子育ての駅おぐに「たんぼぼ」	1,628	0	9	62	子育ての駅わしあ「わくわく」	1,361	4	8	66	子育ての駅てらどまり「にこにこ」	1,442	0	12	98	子育ての駅とちお「すくすく」	4,541	24	16	48	子育ての駅よいた「にじの子広場」	2,395	24	4	46	子育ての駅かわぐち「すこやか」	1,772	0	0	69
施設名	来場者数 (人)	相談活動 (回)	講座開催 (回)	行事開催 (回)																																																																								
子育ての駅ちびっこ広場	31,829	12	103	147																																																																								
子育ての駅千秋「てくてく」	97,873	15	188	183																																																																								
子育ての駅ながおか市民防災センター「ぐんぐん」	41,072	10	167	103																																																																								
子育ての駅なかのしま「なかのんひろば」	1,714	12	10	77																																																																								
子育ての駅こしじ「のびのび」	1,817	0	16	83																																																																								
子育ての駅みしま「もりもり」	3,921	0	17	142																																																																								
子育ての駅やまこし「やまっこ」	463	12	6	33																																																																								
子育ての駅おぐに「たんぼぼ」	1,628	0	9	62																																																																								
子育ての駅わしあ「わくわく」	1,361	4	8	66																																																																								
子育ての駅てらどまり「にこにこ」	1,442	0	12	98																																																																								
子育ての駅とちお「すくすく」	4,541	24	16	48																																																																								
子育ての駅よいた「にじの子広場」	2,395	24	4	46																																																																								
子育ての駅かわぐち「すこやか」	1,772	0	0	69																																																																								
60	保育付き事業の実施	① ③	子ども・子育て課	(全庁的取組)	各種講習会及び諸会議の開催に際して、子育て中の保護者でも参加できるよう、関係機関・団体等に対し保育付き事業の実施を促す。	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内各課または関係機関・団体の判断で保育付会議及び事業(講演会等)に取り組んでいる。 ・講座や会議に保育をつけることで、子どもと離れることにより集中することができる。また、保護者のストレス解消にもつながっている。 ・今後も次世代育成支援対策行動計画の推進にあわせて、関係機関・団体等に対し保育付事業の実施を促す。 <p><子育ての駅ちびっこ広場> ○保育付き講習会の開催回数 延べ2回 ○お預かりした子どもの人数 延べ17人</p> <p><ファミリー・サポート・センター> ○保育付き講習会の開催回数 延べ12回 ○お預かりした子どもの人数 延べ42人</p> <p><子ども・子育て会議> ○保育付き会議の開催回数 延べ0回 ○お預かりした子どもの人数 延べ0人</p> <p><子ども・子育て課青少年係> ○保育付きセミナーの開催回数 延べ5回 ○お預かりした子どもの人数 延べ37人</p>																																																																						
61	子育てフェスティバル	① ② ③	子ども・子育て課		市民に対し、子育てに関する情報や交流の場を提供し、子育てに対する関心を高めるとともに、子育て支援関係団体やボランティア団体等の活動の紹介、参加団体等の交流を深め、子育て支援ネットワークの形成を推進する。 子育ての駅千秋「てくてく」を会場に実施。 当事業の目的である、子育て支援に関わる団体や関係機関のネットワークづくりを行い、子育て支援の輪を広げることが達成できたため、令和元年度をもって事業終了となった。	事業終了																																																																						

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
62	児童虐待防止ネットワークの構築 (要保護児童対策地域協議会)	③ ⑥ ⑧	子ども家庭センター	長岡市要保護児童対策地域協議会	虐待や虐待のおそれがある児童に迅速な支援を行うため、地域での子育てに関係する様々な機関による支援体制を整備する。定期的な連絡会議等により、適切な保護・支援のための情報共有や支援内容に関する協議を行う。	児童虐待など要保護児童及びその保護者や要支援児童の適切な保護を図るために必要な情報を共有し、関係機関との連携により必要な支援を行うことができた。 (1)構成機関との連絡会議 ・代表者会議 1回(令和5年7月) ・実務者会議 11回(令和5年5月～6年3月) ・個別ケース検討会議 33回(令和5年4月～令和6年3月) (2)構成機関の研修会 ・課題検討会…1回(令和5年11月) (3)地域の機関への啓発・協力依頼 児童虐待防止推進月間(11月)において関係機関へポスター・リーフレットの掲出依頼
63	母子健康手帳交付	⑦	子ども・子育て課		妊娠届をした妊婦に母子健康手帳を交付し、安心・安全な妊娠・出産のため、妊婦健診受診票14回分を交付するとともに、母子保健サービスの紹介や保健指導・相談を行う。	母子健康手帳を活用して母子の健康管理を行う大切さを伝えている。定期的な妊婦健診の受診を勧め、貧血、妊娠高血圧症候群等の予防を図っている。また相談機関や利用可能なサービスについて紹介を行っている。 令和5年度は1,347件の妊娠届出があり、1,375冊の母子健康手帳を交付した。
64	パパママサークル	① ② ⑦ ⑧	子ども・子育て課	助産師会	妊婦とパートナーを対象に、父親と母親で子どもを産み育てようという意識を育て、父親の積極的な育児参加を促すために、沐浴の体験を実施する。妊娠中の不安やストレスを軽減し、困った時に相談できるように情報提供をする。令和4年より、体験型講座の回数を増やして実施している。	【重点①】 沐浴体験や保健師・助産師からの話を通して、出産後の生活をイメージできるように働きかけ、乳幼児期から基本的な生活習慣を身につけることの大切さを伝えている。実施回数18回 参加者560人(妊婦279人 パートナー273人 その他8人) 【重点②】 沐浴体験をする中で、親子の絆を深めることを伝えている。実施回数18回 参加者560人(妊婦279人 パートナー273人 その他8人) 【重点⑦】 出産を機に家族の生活習慣を見直し、規則的な生活習慣を送ることができるよう働きかけている。実施回数18回 参加者560(妊婦279人 パートナー273人 その他8人) 【重点⑧】 産後のマタニティブルーについて夫婦ともに理解してもらい、悪化を予防できるようにするとともに、子育ての不安についての相談機関を情報提供している。実施回数18回 参加者560人(妊婦279人 パートナー273人 その他8人)
65	児童館・児童クラブ	⑤	子ども・子育て課	市民協働課	地域における青少年健全育成活動の拠点施設として、児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、豊かな情操を形成する。 また、留守家庭児童を対象に、適切な遊びや生活の場を与える児童クラブを実施する。	○児童クラブを51クラブ開設し、延べ443,725人、1クラブ1日平均32人が利用した。平成28年度から、開設時間の延長を有料で実施し、延べ52,728人が利用した。 保護者の就労などで、昼間、留守家庭の小学生を対象に、保護者が迎えに来るまでの間、預かり見守る児童クラブを無料で開設し、保護者の勤務実態、通勤事情等のやむを得ない事情がある場合には開設時間延長を有料で実施することで、児童が安心して過ごせる遊び場や生活の場を提供するとともに、子ども同士の交流や活動を通して健全育成を図ることができた。 ○児童館については、39館開設し、延べ67,364人、1館1日平均7人が利用した。 児童に健全な遊びを与えながら、安心・安全な居場所づくりを推進することができた。今後も児童館の運営の充実に努めたい。

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
67	サマーキャンプ	⑥	子ども・子育て課	長岡市子ども会連絡協議会	「子ども会等リーダー養成・地域活動推進事業」の中の「小学生リーダー養成事業」のひとつとして、サマーキャンプを実施する。子ども会など地域での活躍が期待される子どもたちのリーダーを養成する。 対象：小学5～6年生	令和5年度は川口運動公園とその周辺で実施。参加者数87人。長岡市子ども会連絡協議会への委託事業であったが、令和5年度から精力的に活動してもらうために補助金事業に変更し、運営をお願いしている。 班別での活動が多く、参加者同士友情を深めあっている。 また、ジュニアリーダーを志す参加者が増え、リーダーとして育てていきたい。 参加者の確保が課題である。
69	子ども・青少年相談活動(子ども・青少年相談センター)	⑥	学校教育課		不登校、ひきこもり、行動や学習、発達面の問題、就学・就労など、小学生から20歳未満の子ども・青少年に関する悩みごとの相談に応じる。必要に応じて、学校、他機関と連携を図り、子ども・青少年の自立に向けた支援を行う。	20歳未満の子どもに関する電話相談・面接相談・メール相談に対応した。相談者の主訴に応じて、相談者が納得・満足するまで継続した相談を丁寧に行い、多くの相談者から理解を得ている。学齢期の子ども・青少年の相談については、学校との連携が不可欠なものが多いため、積極的に連携し、相談者の悩みを解決するとともに、対応に苦慮している学校に対しても対応の改善策を見つける一助となっている。相談内容により、医療機関や福祉施設、他の相談窓口とも連携を行い、相談者にとってよりよい生き方につながるような相談を心掛けている。 【令和5年度相談状況】 面接相談件数：489件 面接延べ回数：4,403回 電話相談延べ回数：1,417回 学校訪問支援：250回
70	母子保健推進員の家庭訪問	③	子ども・子育て課	長岡市母子保健推進員協議会	4か月の赤ちゃんに対し家庭訪問をおこない、地域の情報を伝えたり、子育ての相談をする。	令和5年度赤ちゃん訪問実績、1404件。妊婦訪問は市と医療機関との連携が取れているため、R4年度で終了とした。赤ちゃん訪問を通して、育児や地域の子育て情報を提供している。出産後に母推の地区活動やままのまカフェ、子育ての駅、親子サークルへの参加のきっかけとなっている。母推の訪問では、直接顔を合わせることで、子育ての相談を受けたり母の思いを傾聴している。訪問し、気になった家庭によっては、保健師と連携を取りながら母親の相談に応じ、母が安心して子育てできるように支援している。
75	乳幼児健診	①	子ども・子育て課		4か月児健診、10か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診を実施。乳幼児の健全な発育の確認と保育者への育児相談等を目的に行っている。	幼児健診で生活リズムや食事について、パンフレット等を用いて相談・指導を行っている。昨年度に比べて早寝早起きの子どもの割合は3歳児・1歳6か月児ともにほぼ横ばいだった。また、食事中のテレビをつけている家庭の割合も、ほぼ横ばいだった。 家族全体の生活習慣を見直し、実践するきっかけとなるよう、今後も健診を通して生活習慣について伝えていく必要がある。 【令和5年度状況】 1歳6か月児健診 7時までに起きる子の割合：84.3% 21時までに寝る子の割合：72.3% 3歳児健診 7時までに起きる子の割合：81.0% 21時までに寝る子の割合：44.2%
77	子育てガイドの配布	③	子ども・子育て課		妊娠から主に小学校までに関する制度、事業、相談窓口などをまとめ、子育てに関する情報提供のための総合的なガイドブックを作成。	母子健康手帳交付時等に配布し、妊娠時から小学生までの子育てに関する制度や事業、相談窓口などを紹介している。 子育て世代が多く集まる子育ての駅や幼稚園・保育園、児童館等にも設置し、配布を行っている。

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
78	産前・産後家庭生活応援支援事業	③	子ども・子育て課	長岡助産師会、柏崎助産師会、小千谷助産師会、シルバー人材センター、(株)ホームिंग、ニチイケアセンター長岡・長岡末広	安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを推進するため、妊産婦が出産前後の時期に家事または乳児の育児等の支援を受けることを目的に、1回の妊娠につき2回まで、登録事業者のサービス利用時に1回1,000円の助成を行う。 令和4年度から「マタニティライフ応援金」事業を開始することに伴い、令和3年度末をもって利用券の配付を終了した。	事業終了
80	妊婦歯科健診	⑦	子ども・子育て課	長岡歯科医師会	妊婦の歯科・口腔内の健康の維持・増進を図り、生まれてくる子どもや家族の歯科保健に対する意識を高めるために、妊娠中に1回妊婦の歯周疾患検診を実施する。 対象：母子健康手帳交付の妊婦 内容：母子健康手帳交付時に妊婦歯科健診受診票を1枚発行し、長岡市内協力歯科医院で個別実施	平成22年度から妊婦歯科健診を開始し、少しずつ健診の認知度が上がり、51.7%が歯科健診を受診するようになった。妊婦だけでなく家族全体の歯科・口腔内の健康のための保持増進につながるよう、健康に関心の高い妊娠中に継続して周知を続けていく。 令和5年度状況 受診結果：異常なし : 10.1% 要指導 : 22.6% 要精検・要治療 : 67.3%
81	延長保育、一時保育、休日保育、病児・病後児保育	③	保育課	子ども・子育て課	子育てと仕事・家庭の両立を支援するため、一時的に子どもを受け入れる。	①市民参画 延長保育事業は、令和5年度公立保育園30か所・私立保育園等64か所の計94か所で実施し、延べ65,061人が利用した。 一時保育事業は、令和5年度公立保育園6か所・私立保育園等20か所の計26か所で実施し、延べ3,734人が利用した。 休日保育事業は、令和5年度私立保育園3か所で実施し、延べ396人が利用した。 病児・病後児保育事業は、令和5年度8か所で実施し、延べ1,418人が利用した。 ②さまざまな組織や機関の連携 ファミリー・サポート・センター事業等の他組織で実施する一時預かり事業の内容把握に努め、利用者のニーズに応じた情報提供が行えるよう心がけた。 ③環境づくり 令和3年度から病後児保育施設を増設し、子育て支援環境の充実を図った。
82	保育園地域活動事業	③	保育課		多様化する保育需要に積極的に対応するとともに、地域に開かれた社会資源として、保育園の有する専門的知識を地域住民のために活用することが求められている。 このため、世代間交流、異年齢児交流、育児講座等による地域との交流を通して保育園の専門的な機能を提供する。 平成31年度で事業終了。	事業終了

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
83	保育園地域子育て支援センター	① ③	保育課	子ども・子育て課	就労形態の多様化や核家族化により、子育てに対する負担や悩みを抱えている人が少なくないことから、子育てに悩んでいる人や交流する機会を望んでいる人に保育園を開放し、相談指導、子育てに関する情報、各種講習を提供していく。 また、地域全体で子育て親子の育ちを支援するため、関係機関や子育て支援活動を実施する団体等と連携の構築を図る。	①市民参画 令和5年度は公立保育園3か所・私立保育園等21か所の計24か所で実施し、延べ37,463名が利用した。 ②さまざまな組織や機関の連携 保育園地域子育て支援センターと同様の取組を実施している、市内13か所の子育ての駅(子育ての駅てくてく、子育ての駅ぐんぐん、子育ての駅ちびっこ広場、子育ての駅すくすく、子育ての駅なかのひろば、子育ての駅のびのび、子育ての駅もりもり、子育ての駅やまっこ、子育ての駅たんぽぽ、子育ての駅わくわく、子育ての駅にこにこ、子育ての駅にじの子広場、子育ての駅すこやか)と情報共有を行い、事業を展開した。 ③環境づくり 0～2歳児の保育園等の入園児童数の増加と、子育ての駅の開設により、利用者数は減少傾向にある。今後も、子育て中の親の孤独感や不安感の増大等に対応し、子どもの健やかな育ちを支援すると共に、より地域の実情に応じた運営が行えるよう、関係機関や団体等との一層の連携強化を図って行く。
85	市が実施する事業の市民への周知	⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑬	健康増進課		長岡市ホームページ等で長岡市が実施している各種健(検)診、各教室、相談等を市民に周知する	【重点⑧⑩⑬】 こころの相談会 相談者の約7割は、青壮年期の方が占めている。市政日より、ホームページを見ての申し込みが多く、情報提供の効果がある。ホームページ上にこころの健康づくりについての情報提供も掲載した。 【重点⑦⑨⑩】 ・各種健(検)診 年度当初に、健康カレンダーの全戸配布及び市ホームページで年間スケジュールを周知したことに加え、市政日より市公式LINE、地区担当保健師による周知でリマインドを図った。 さらに、未受診者に対し、個別通知やSMSによるピンポイントの受診勧奨を行った。・各種健(検)診 ・健康相談等 健康相談会については健診受診者全員へ案内を送付するとともに、市政日より掲載し、広く市民への周知を図った。またホームページ上で特定保健指導、糖尿病重症化予防に関する情報提供を掲載した。
86	受動喫煙防止対策	⑦ ⑯	健康増進課		市政日より、ポスター掲示、健康教育等により、受動喫煙の害について住民へ啓発していくもの。 ①禁煙週間の啓発 ②市有施設における受動喫煙防止対策 ③受動喫煙防止対策講座 ④禁煙外来の周知 望まない受動喫煙の防止を図るため平成30年7月25日に「健康増進法の一部を改正する法律」が交付された。改正法の周知を図るとともに、法律を遵守した対策を講じる。	【重点⑦】 ①6月の禁煙週間に合わせて、アオーレ長岡で、大型ビジョンによる禁煙啓発動画の放映、長岡市公式LINEで配信し、啓発を実施した。また、タニタカフェで受動喫煙防止や禁煙に関する講座を行った。 ②今後もより多くの市民に情報提供ができるよう、講座やイベントを開催する場所や日時を工夫し、SNS等のメディアを活用しながら、受動喫煙防止や禁煙の啓発を図っていきたい。 【重点⑯】 R1年7月1日、改正された健康増進法により、第一種施設を原則敷地内禁煙とする規定が施行された。

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
87	地区健康づくり事業	コミュニティにより設定	健康増進課	各地区コミュニティセンター、長寿はつらつ課、スポーツ振興課、子ども子育て課、各支所市民生活課(和島支所、山古志支所は地域振興・市民生活課)、市民協働課	地区担当保健師が地区の実情を把握し、住民主体の健康づくりを支援するとともに、地区における健康づくり組織の活性化を図る。保健師の地区担当制推進により、高齢者包括支援センターの圏域に地区担当保健師を配置したが、事業実施単位はコミュニティセンター単位で行っている。 ・健康づくり関係者研修会 ・健康情報の提供(地区パッケージの提供) ・地区別健康講座 ・地域健康づくり啓発イベント(講演会、ウォーキング大会等)	①市民参画 地区別健康講座:41地区 164回 延べ参加者数 3,026人 ②さまざまな組織や機関の連携 地区の健康情報(地区パッケージ)を基にコミュニティセンターの関係者等と地区把握を行い、実情に合わせて健康講座を企画している。年代や性別、ニーズを考慮し、仲間意識を高められるよう支援することで、定期的なサークル活動につなげられた地区もある。事業の周知や実施において、食生活改善推進委員、民生委員、町内会、健康福祉部会、小学校・中学校保健委員会、スポーツ関係サークル等と関わり、協働している。コミュニティセンター主催の事業として根付いた健康講座もあり、自助・互助の取り組みが地区へ波及していくとよい。 ③環境づくり 各コミュニティの健康づくり担当者や健康づくり・地域づくり関係部署職員の資質向上及び主体的な事業の取組みにつなげることを目的に関係者研修会を毎年開催している(R4年度は新型コロナウイルスの感染流行に伴い中止)。R5年度は「ひきこもり研修会」と「長岡市新任期保健師研修会」を開催した。他地区との交流を通じて、日常業務でも連携が図りやすくなるだけでなく、関係部署(組織)等にとっても地区の情報を知り地区のニーズに合った活動を支援していくための良い機会となっている。
89	家族で守ろうパパの健康	⑦ ⑨ ⑩	健康増進課	長岡市医師会、新潟県臨床検査技師会中越支部、長岡市スポーツ協会、新潟県栄養士会長岡支部	健康への関心が低い年代層へのPR事業として、6月の父の日前後に「父の日企画」～家族で守ろうパパの健康～を開催し、健康チェックや健康相談会を実施し、青年期・壮年期の生活習慣病予防に対する意識の普及啓発を図るもの	【令和5年度の実施状況】 令和5年7月9日(日)国営越後丘陵公園 花と緑の館いこいの広場でイベントを開催し、家族連れなど82名が参加した。(令和2年度92人。令和3年度新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止、令和4年度106人) 30分毎の予約制とし、10名ずつ誘導することで密集・密接を避けて、安全にイベントを実施した。長岡市医師会をはじめとする4つの関係機関・団体と協力し、それぞれの特徴を活かした健康チェックコーナーを設置した。アンケート結果より、参加者の7割が「自分の健康状態を知ることができた」と回答しており、イベントを通して自身の生活を振り返り、健康への関心を高める機会になった。
91	健康づくり井戸端会議	⑬	健康増進課	各地区コミュニティセンター、各支所地域振興・市民生活課(栃尾支所は市民生活課)	市民の考える健康なまちづくりを進めるため、市民が地区での健康づくりについて自由に意見交換し、取り組みを考える場をつくることにより、主体的な健康づくり活動を支援するもの	【令和5年度井戸端会議実施状況】 長岡地域 1地域(深才地区で実施) 11人参加 支所地域 なし 地区ごとに、町内会長や健康づくり部会員、ボランティア・サークル参加者や食生活改善推進委員、母子保健推進員等の地区住民が参加し、健康づくりについて幅広く意見交換を行っている。母子から高齢までさまざまな対象、組織と会議を実施し、地区の課題を見つけ、自分たちができそうなことを話し合っている。 井戸端会議で出た意見をコミセンだよりで周知したり、健康づくり活動に取り入れたりしている。ウォーキングマップ作成もその一環である。 実施する地区が年々減少しているが、会議の手法にとらわれず、自由に地区住民が意見交換できるよう周知していきたい。

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
92	こころの講演会	⑧ ⑪ ⑬	健康増進課		ストレス、うつ病に関する正しい知識の普及啓発を図るために講演会や講座を開催する。	<p>・実施回数 21回 ・参加者数 644人</p> <p>・市全体、コミュニティセンター、支所地域で、こころの講演会や講座を開催している。</p> <p>・市全体の講演会は、「みんなの言葉は生きている～話すことは放すこと～」と題して、こころの不調をきたす要因の一つに人間関係の不和があり、よりよい対人関係の築き方について学ぶことを目的に開催した。</p>
93	こころの相談会	⑧ ⑪ ⑬	健康増進課		こころの悩みやアルコール問題を抱えた人、自死などの遺族を対象に相談会を開催する。 * 臨床心理士、精神保健福祉士の専門相談会	<p>相談会は、さいわいプラザで開催し、日中だけでなく、夜間の相談日を設けている。相談会の周知チラシは、医師会、歯科医師会、薬剤師会の協力を得て、内科医院、歯科医院、薬局に設置した。</p> <p>各年代から申し込みがあったが、50歳代、70代以上の相談者が多かった。特に、夜間の相談会は、日中働いている相談者が中心であり、仕事後に相談できる機会となった。</p>
94	生活習慣病予防事業	⑨ ⑩ ⑫	健康増進課	長岡市医師会 新潟県栄養士会 新潟県栄養士会 長岡支部 食生活改善推進委員協議会 各支所市民生活課(和島支所、山古志支所は地域振興・市民生活課)	<p>【予防教室・講座】 市民自ら生活習慣病の予防や健康増進に関する正しい知識を身につけ、健康管理が実践できるように支援するため、医師・栄養士・保健師等の講話、運動実技等の講座を実施する。</p> <p>【生活改善プログラム】 医療機関と連携して受療中の人等を指導会につなぎ、生活習慣病の重症化予防を図る。</p> <p>【CKD・糖尿病性腎症等栄養指導事業】 CKD・糖尿病性腎症等の患者を対象とし、重症化予防を目的に栄養指導等を実施する。(委託先:新潟県栄養士会長岡支部)</p>	<p>【予防教室・講座】 ①市民参画 実施回数378回、参加者数(延)9,494人 ②さまざまな組織や機関の連携 事業名称や開催日時等を地域特性に合わせて設定する等、参加しやすい工夫を図った。</p> <p>【生活改善プログラム】 ①市民参画 実施回数 49回 参加者数(実)28人(青年期4人、壮年期7人、高齢期17人) (延)46人 ②さまざまな組織や機関の連携、③環境づくり 市内 76医療機関へ訪問して事業説明を行い、事業協力の了解を得た。医師から指導会への参加を勧めることにより、参加者の生活改善に対する強い動機づけとなった。</p> <p>【CKD・糖尿病性腎症等栄養指導事業(委託先:新潟県栄養士会)】 ①市民参画 ア、栄養相談会(個別相談) 参加者数(実)49人(壮年期 人 高齢期 人) (延)154人 イ、糖尿病相談会(個別相談) 参加者数(実)85人(壮年期 人 高齢期 人) (延)130人 ②さまざまな組織や機関の連携 かかりつけ医との連携をはかり指導を実施した。 ③環境づくり 糖尿病性腎症重症化予防プログラムを策定し、かかりつけ医、専門医、市が連携しやすい環境づくりに取り組んでいる。</p>

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
95	健康教育(地区別健康教育)	⑨ ⑩ ⑫	健康増進課	各地区コミュニティセンター、市民協働課、スポーツ振興課、長寿はつらつ課、子ども・子育て課、長岡市医師会、新潟県栄養士会長岡支部、新潟県歯科衛生士会	地区担当保健師がコミュニティセンター担当者とともに、地区のニーズに応じた健康教育を立案・実施する。保健師の地区担当制推進により、高齢者包括支援センターの圏域に地区担当保健師を配置したが、事業実施単位はコミュニティセンター単位で行っている。	地区別健康講座:41地区 164回 延べ参加者数 3,026人 各地区的健康課題にあわせた内容で医師、栄養士、歯科衛生士、運動指導員、保健師等による講座を開催している。 今後も対象者の年代や性別に応じて、講座の内容や周知の方法を工夫しながら実施していく。
97	電話等による健康相談	⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑬	健康増進課	子ども・子育て課	さいわいプラザ等において、保健師及び看護師、栄養士等が電話及び面接による健康相談を実施する。	R5年度相談延人数4,502人のうち、精神保健福祉関係の相談が2,220人で、約半数を占めている。 次いで、「生活習慣病(糖尿病、脂質異常、高血圧を含む)」「健康増進」「介護予防」「がん」に関する相談が多い。 相談者の悩みや不安を十分に傾聴し、必要に応じて、職員間での情報共有や他関係機関との連携を図っている。 今後も、他部署等との連携した相談体制が必要である。
98	あなたの健康相談	⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪	健康増進課		個人・家族の健康増進に役立てることを目的に、個別に自身の健康及び栄養や食事に関する相談に応じ、必要な指導助言を行う。 さいわいプラザや支所等で実施する。	R5年度相談延人数568人(青年期:225人、壮年期:47人、高齢期:296人) 健診結果に関する相談が中心である。相談会は、健診結果から自身の生活の振り返りや問題点に気づききっかけとなり、生活習慣改善へつながっている。また、ストレス等の精神面について相談する参加者もいるが、必要に応じて、他関係機関につなげている。今後もこころの相談会や他関係機関との連携を図る。
99	健康診査事業	⑦ ⑨ ⑩	健康増進課	国保年金課	【特定健康診査】 19～74歳(40～74歳は市国保加入者、生活保護受給者)を対象に、生活習慣病の予防やメタボリックシンドローム予備群・該当者の早期発見を目的として健康診査を実施する。 【後期高齢者健康診査】 75歳以上及び後期高齢者医療制度加入者を対象に、疾病の早期発見・早期治療を目的として健康診査を実施する。 令和2年度から、特定健診の受診率向上を図るため、40～64歳の市国保加入者の自己負担金額を軽減(1,300円→500円)。	【重点項目⑦】 ①市民参画 受診者数 1,345人(19～39歳) ②さまざまな組織や機関の連携 若い世代でも受診しやすい土日での健診実施(特定健診 14回) 【重点項目⑨⑩】 ①市民参画 受診者数 3,344人 (40～64歳で市国保加入者、生活保護受給者) ②さまざまな組織や機関の連携 現役世代でも受診しやすい土日での健診実施 (特定健診・総合健診 14回)

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価												
100	特定保健指導事業 訪問指導事業	⑨ ⑩ ⑫	健康増進課	委託医療機関等	<p>【特定保健指導事業】 特定健康診査で、メタボリックシンドローム予備軍や該当者等に対し、支援レベルに合わせた保健指導を行い、自ら生活習慣を見直すことによりメタボリックシンドロームの改善を行う。</p> <p>【訪問指導事業】 健康診査の結果、医療機関への受診が必要な方が受診しない場合に、訪問して受診勧奨を行う。また、医療機関受診後も、健康状態や生活環境から継続支援が必要な方に対し訪問指導を行う。</p>	<p>【特定保健指導事業】</p> <p>①市民参画 令和5年度実績 壮年期:105人、高齢期:399人の参加があった。</p> <p>②さまざまな組織や機関の連携 在宅栄養士や在宅運動指導員等地域の人材を活用して指導をおこなっている。医療機関等への委託もおこなっており、利用率のうち3.8%を占めている。 令和5年度からオンライン保健指導の委託を開始し、利用率のうち2.8%を占めている。</p> <p>③環境づくり 参加者に地区コミセンの運動サークルや市内体育館のサービスを紹介し、特定保健指導終了後の運動習慣定着を図っている。</p> <p>【訪問指導事業】</p> <p>①市民参画 訪問実施数 実1,965件 延2,333件</p>												
102	歯周病検診	⑨	健康増進課	長岡歯科医師会等	<p>40歳・50歳・60歳・70歳の節目年齢の方を対象に、市が指定する歯科医院で検診及び保健指導を実施し、歯周疾患の早期発見・早期治療に繋げる。</p> <p>令和2年度から対象者年齢を30歳に拡大して実施 (対象年齢:30歳・40歳・50歳・60歳・70歳)</p>	<p>①市民参画 令和5年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象者数</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40, 50, 60歳</td> <td>14,107人</td> <td>2,130人</td> <td>15.1%</td> </tr> <tr> <td>30歳</td> <td>2,282人</td> <td>209人</td> <td>9.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>対象者に個別通知で検診票を送付</p> <p>②様々な組織や機関の連携 委託歯科医院にポスターの掲示を行い、受診を呼びかけた。</p> <p>③市公式LINEでの周知 6月と12月に市公式LINEで周知を行い、受診を呼びかけた。</p>		対象者数	受診者数	受診率	40, 50, 60歳	14,107人	2,130人	15.1%	30歳	2,282人	209人	9.2%
	対象者数	受診者数	受診率															
40, 50, 60歳	14,107人	2,130人	15.1%															
30歳	2,282人	209人	9.2%															

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
104	食育推進事業	① ② ④ ⑦ ⑨ ⑩	健康増進課	市民協働推進課、農水産政策課、環境業務課、学務課、学校教育課、保育課、子ども・子育て課、アクアレー長岡、長岡市食生活改善推進委員協議会、長岡市母子保健推進員協議会、JAえちご中越、栄養士会長岡支部、PTA連合会、長岡市社会福祉協議会他	第3次長岡市食育推進計画の重点目標である「健全な食生活の実践・長岡の食文化の継承・食育活動を支える環境づくりを進めるよう、家庭やそれを取り巻く地域、教育関係者、農林漁業者など食に関わる関係者が連携し食育の推進に取り組んでいく。	<p>【長岡市食育推進会議・連絡会議】 食に関する団体や有識者などで構成する食育推進会議(計2回)、食育推進連絡会議(計3回)を開催し、次期計画の策定を行った。</p> <p>【学校給食減塩うまみランチ商品化事業】 ・市立学校の献立を商品化し、市内のスーパーマーケットで販売することで、手軽に減塩や野菜摂取につながる食生活の実践ができるよう、食環境整備を行った。 ・マルイ(株)と協力し、6月の食育月間に合わせ、期間限定販売。 ・同期間内には、全市立学校で同様の献立「減塩うまみランチ」が提供された。</p> <p>【食育総合講座「みんなの食育塾」】 ・「生活習慣改善コース」「親子講座」「伝承料理」「高校生向け3・1・2弁当箱法」の食育講座を実施。参加者数延べ200名。 ・中止となった「働き世代向け時短メニュー講座」は、調理動画を作成した。</p> <p>【保育園・幼稚園食育講座】 ・園児を対象にした食育講座1園5回×10園 ・親子食育体験講座計5園 ・保護者向け食育講座計2園 ・保育従事者研修会1回 ・畑の先生による野菜栽培5園、収穫体験講座1園</p> <p>今後も、食に関する関係者・関係団体等と連携し、様々な視点から食育の効果的な推進を図る。</p>
105	児童館食育プログラム事業	④	健康増進課	児童館、コミュニティセンター、栄養士会長岡支部、食生活改善推進委員協議会	<p>・児童館(児童クラブ)に参加している子どもたちを対象に、子ども自らが「食」に関心を持ち、「食」を正しく選択できる力を育てる。</p> <p>・「講話」「講話・調理・体験」の2コースより選択、1時間～半日程度の時間を使って講話やミニゲーム、簡単な調理を行う。</p>	<p>17か所で開催(講話:7か所、講話・調理・体験:10か所) 参加児童数492人</p> <p>児童館・児童クラブを中心に、コミュニティセンターや食生活改善推進委員、栄養士会と連携しながら、講話や調理・体験など各児童館・児童クラブの実情に応じて実施している。 令和5年度の調理・体験の内容は、みそ玉づくり(一人分のみそとだし、具材をひとつに丸めて、お湯を注ぐとみそ汁ができる)や、災害食のバッククッキングなど、子どもたちが主体となって作れる献立を多く取り入れた。 子どもたちが体験を通して楽しく学ぶ様子が伺え、「食」への関心の向上につながっている。今後も未実施地区を中心に事業PRを継続して行っていく。</p>

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
106	糖尿病を知るつどい	⑨ ⑩ ⑫	長岡市医師会	長岡地域振興局健康福祉環境部、長岡歯科医師会、長岡市薬剤師会、新潟県栄養師会長岡支部、新潟県看護協会長岡支部、新潟県臨床検査技師会中越支部、糖尿病患者の友の会、健康増進課	<p>長岡市及び周辺地域の糖尿病患者やその家族、また一般市民も対象に糖尿病についての教育・啓蒙を行い、よりよい療養生活を送れるよう援助することを目的に講演会を実施する。</p> <p>例年、講演、運動指導、健康食紹介等を行い、健康に関する知識の向上を図り、また、血糖測定やセルフケア指導(腹囲測定、血圧測定、体脂肪測定等)、歯科指導等を行い、自己の健康管理の醸成を図っている。</p> <p>年1回実施</p> <p>【事業概要(令和5年度)】 ※「アオーレで知ろーれ糖尿病」(世界糖尿病デーin長岡2023)同時開催 日時 11月19日(土)13時30分 ※開場12時30分 場所 アオーレ長岡 テーマ「それってホント? 糖尿病治療の新常識」 内容 講演・座談会 講演・座談会「ここが知りたい! 糖尿病治療のホントの話」 講師 長岡オールスタッフ ・長岡西病院 内科部長 福居和人先生 ・高木内科クリニック 院長 高木正人先生 ・長岡地域振興局健康福祉環境部課長代理 小島美世氏 ・立川総合病院栄養科 管理栄養士 安田直美氏 司会進行 ・長岡中央総合病院糖尿病センター長 八幡和明先生 ・新潟県栄養師会長岡支部長 管理栄養士 熊倉利江氏 参加者数:94名 ※令和5年度は令和4年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、講演・座談会のみ「規模を縮小した開催」となった。</p>	<p>令和5年度は、令和4年度同様に、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し規模を縮小しての開催とした。</p> <p>①市民参画 参加者数はH21年度330人→H22年度240人→H23年度215人→H24年度340人→H25年度365人→H26年度311人→H27年度289人→H28年度212人→H29年度360人→H30年度302人→R1年度238人と増加・減少の波があるが、平均すると300人前後で推移していると考える。例年、内容は糖尿病を中心とするものとしているが毎年テーマを変えて行っており、継続して来られる方もあきがないように近年の状況を踏まえて工夫して開催している。減少傾向に転じないように内容を考えながら良い方向で開催していきたい。</p> <p>H29と30年度は、来場者の方々がより親近感がわくようにTV番組に似せた形式で「長岡版ガッテン糖尿病教室」と題して医師、歯科医師、薬剤師、特定看護師、管理栄養士など専門分野の方々から多方面に亘り正しい知識のもと具体的に糖尿病と向き合いながら日常生活に生かしてもらうことを考えて行った。H30年度より、より多くの来場者を見込み開催時期を秋から夏に変更した。患者のみならず家族や一般の方も理解できたことと思っている。今後も新たな取り組みを行い、多くの方々が興味を示してもらえるような内容で行って行きたい。それから、従来同様、糖尿病患者の状態を悪化させないために、より一層生活習慣の重要性を訴えていきたい。また、糖尿病患者をこれ以上増やさないために、予防対策を関係機関と検討したいと考えている。それには、若い世代から糖尿病を予防するための運動や食生活等普段の生活習慣を意識づける必要がある。</p> <p>令和5年度は、令和4年度と同様に、新型コロナウイルス感染症の感染状況に配慮しながら、短時間で少人数での開催としたため、例年のような充実した内容には至らなかった。</p> <p>②さまざまな組織や機関の連携 従来同様に、長岡市、長岡地域振興局健康福祉環境部、長岡歯科医師会、長岡市薬剤師会、新潟県栄養師会長岡支部、新潟県看護協会長岡支部、新潟県臨床検査技師会中越支部、糖尿病患者の友の会等の代表者を集めて事前打ち合わせを行い、当日も役割分担をして運営した。各組織が連携することで、各専門分野での問題点、患者等の関心のある分野の把握、今後の対応等がスムーズに行われ、統一した意識の基、この糖尿病を知るつどいの内容が年々充実してきている。令和2年度、3年度と開催できなかったため、令和5年度は令和4年度と同様だが、改めての糖尿病に関する知識の向上等を関係機関との協力のもと図れたことは有意義だったと考える。</p> <p>③環境づくり 様々な関係組織が糖尿病を知るつどいに一堂に会することで、糖尿病患者やその家族が適切にセルフケアを行っていくための情報交換や相談ができる機会となっている。今後、予防対策を検討したいと考えていることから、新たな機関の協力も検討していかなければならないと考えている。</p> <p>今後も患者、家族、市民などがより一層糖尿病に関する知識を向上させ、より良いライフワークが出来るように努めていきたい。</p>

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
107	健康介護まちかど相談薬局	⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪	長岡市薬剤師会		<ul style="list-style-type: none"> ・禁煙のサポート ・適度な飲酒量を守るようアドバイス、妊娠中の飲酒・喫煙について妊婦へアドバイス ・特定保健用食品・サプリメント等のサポート ・自殺予防等含めこころの悩みの相談 ・当事業と同様の内容を含む事業として、現在、厚生労働省、(公社)日本薬剤師会が推進する「健康サポート薬局」が推進されており、当会会員の多くが本事業に参画しています。 	<p>令和4年度に引き続き令和5年10月22日に健康増進課と共催で、長岡市多世代健康まちづくり事業 薬と健康のイベントを開催した。</p> <p>以下、例年の取り組み</p> <p>【重点項目⑦】各薬局で、適度な飲酒(妊娠中は禁酒)・禁煙(禁煙補助剤を用いて)サポート(開業医連携)・特定保健用食品・サプリメント等のサポートを行っている。</p> <p>【重点項目⑧】各薬局で、自殺予防等含めこころの悩みの相談対応について市内各薬局で取り組み継続した。自殺予防ゲートキーパーについては養成のためのワークショップについて(公社)新潟県薬剤師会との開催はなかったが、研修会は計画、実施され会員は自由参加にて取り組んだ。</p> <p>【重点項目⑨⑩】(一社)長岡市薬剤師会として(一社)長岡市医師会の「糖尿病を知るつどい」に共催・参加している。薬局で、適度な飲酒・禁煙(禁煙補助剤を用いて)サポート(病院・診療所連携)・特定保健用食品・サプリメント等のサポートを行っている。</p> <p>【重点項目⑪】各薬局で、自殺予防等含めこころの悩みの相談対応に継続して取り組んだ。自殺予防ゲートキーパーについては養成のためのワークショップについて(公社)新潟県薬剤師会との開催はなかったが、研修会は計画、実施され会員は自由参加にて取り組んだ。</p>
108	糖尿病献立集による情報提供	⑨ ⑩	栄養士会長岡支部	健康増進課	<p>・平成19年度に「糖尿病献立集」第2版を発刊。近年、食生活は家庭内食から外食や調理済み食品等の外部依存が増えつつある。その為、この献立集は、糖尿病患者の外食及び市販食品の利用状況調査を実施した内容も含め、四季の献立及び市販食品を利用した応用編も取り入れた内容とした。絶版のところを、病院等の各界からの要望が聞かれ、平成31年1月に「おてがる糖尿病献立集 市販食品をとり入れた 第2版一増刷」を刊行し、好評を得ている。</p> <p>【事業概要(令和5年度)】</p> <p>・No.111番と合わせ実施しているが、昨年度同様の個人指導として実施し、糖尿病重症化予防に努める。「糖尿病相談会」、「栄養相談会」に加え「後期高齢者相談会」を追加。</p> <p>・「おてがる糖尿病献立集」第2版一増刷の利用をして、献立の工夫に生かしてもらっているが、在庫が少なくなり、第3版を発刊し、好評を得ている。</p>	<p>・長岡市委託事業「CKD・糖尿病性腎症等栄養指導事業」の相談会を実施し、糖尿病を正しく理解し、生活習慣の改善につなげるための動機付けを行い、重症化予防に努めた。相談会15回、延べ262名に指導した。</p> <p>・新潟日報主催「介護・福祉・健康フェア」は参加せず。</p> <p>・長岡市健康増進課、長岡市医師会と連携し、生活習慣病予防、特に糖尿病重症化予防に努めた。</p>
109	地域の伝統料理集を活用しての情報提供	⑦ ⑨ ⑩	栄養士会長岡支部	健康増進課 アクアール長岡	<p>・平成15年に「次世代に伝えたい地域の伝統料理」を発刊。長岡地域の標準的な伝統料理集として、各種講習会で活用。この講習会等を通じて、地域の食文化や地産地消を考えて、心身とも豊かな食生活の推進を図る。</p> <p>【事業概要(R5年度)】</p> <p>・長岡市内小学校の要請により、5年生に「夏野菜のっぺ」の実習を実施し、地域の食材を認識し、伝統料理の普及を図る。</p> <p>・長岡市「すこやかともしびまつり2023」に、「あなたの野菜は足りていますか？」のテーマで参加。</p> <p>・アクアールに月1回の「栄養講座・モデル献立の紹介」に参加、食事診断を実施し、食生活の振りかえりや改善を促す。</p>	<p>・長岡市内小学校で地域の伝統料理の「夏野菜のっぺ」を実習した。児童は真剣な面持ちで伝統的な長岡野菜を初夏風にアレンジした「夏野菜のっぺ」に取り組み、地域の食材や伝統料理への理解を深めた。</p> <p>・長岡市「みんなの食育塾」協力は中止。</p> <p>・長岡市「すこやかともしびまつり2023」に、「あなたの野菜は足りていますか？」のテーマで参加。クイズ形式で、野菜の量を当てようクイズ、栄養士会ブースへの理解度を見てどの野菜なのか確認。また、どの位の量なのか考えてもらい1日の野菜摂取目標350gということ伝えることができた。普段、コンビニ、スーパーでのお弁当を購入している方に選び方のアドバイスができた。親子で参加の方には、普段の食生活を見直す良い機会になった。</p> <p>・アクアール講習会では、栄養講話とモデル献立の試食体験実習を計画したが、講話のみの実施となり、モデル献立は提案のみとし、試食体験は中止。毎月小テーマを設定し、高齢者に健康寿命延伸のための食育活動を実施した。</p>

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
110	スポーツ栄養セミナー	④	栄養士会長 岡支部	長岡市ス ポーツ協会	平成18年度から本セミナーを実施していたが、30年度は主 になって活動していた栄養士が開業し、市内高校の寮生、 野球部活生徒を全面的に支援をしている	・高校生アスリートへの栄養の関わりは開業栄養士で対応している。 ・今後は、スポーツ協会、関係者との連携を図り多角的な視点でアスリートを支援するセミナー活 動を再開。
111	生活習慣病予防 のための食に関 する情報提供	⑦ ⑨ ⑩	栄養士会長 岡支部	健康増進課	生活習慣病の重症化予防として、平成24年度から栄養士 会で慢性腎臓病患者に対する食事講習会を開始。27年度 からは長岡市委託事業「腎臓にやさしい料理教室」を開催 して6年を経過。「腎臓にやさしい栄養教室」として3コース 実施。事業名 No.108と連携し、生活習慣病の予防、特 に、慢性腎臓病や糖尿病腎症の重症化予防に取り組む。 教室終了後、希望者に個別相談を実施。さらに長岡市健康 課の「訪問栄養指導」への連携につなげるように努めた。 全教室終了後に、専門医による代表的な症例のケース検 討会を持ち、次年度につなげる。 【R5年度】 ・R2年度から、No.108と合わせ実施しているが、R4年度同 様の個人指導として計画。「糖尿病相談会」、「栄養相談 会」に加え「後期高齢者相談会」を追加。 ・「親子食育講話」、働き世代の健康づくり応援団出前講座 を市内小学校の依頼により実施。テーマは「成長期に必要な 栄養量について知ろう」。	・R3年度に続き、長岡市委託事業「CKD・糖尿病性腎症等栄養指導事業」で、「栄養相談会(積極 的支援)」、「糖尿病相談会(動機づけ支援)」、「後期高齢者栄養相談」の相談会を実施した。糖尿 病を正しく理解し、生活習慣の改善につなげるための動機づけを行い、重症化予防に努めた。内容 は、R4年度調理体験を伴うような集団指導と個人指導とし、相談会15回、延べ262名(積極的 支援131名、動機づけ支援69名、後期相談62名)に指導した。(No.108にも記載。) ・「親子食育講話」は児童と保護者に分かれて成長期の栄養について講話を実施した。参加数 は、児童約30名、保護者約30名。
112	スマート・ダイエ ット・キャンペーン 事業	④	栄養士会長 岡支部	新潟県栄養 士会	新潟県栄養士会では、次世代を担う高校生に対して”賢い 食べ方”教育事業に取り組んでいる。 【事業概要(令和5年度)】 ・新潟県栄養士会事業、JA委託「高校生米ふれあいス クール」、長岡地区2校実施。	【R5年度】 ・スマートダイエットキャンペーンは実施なし。 ・新潟県栄養士会、JA委託「高校生米ふれあいスクール」は、長岡地区で2校実施。 米消費拡大も含め、望ましい食生活を身につける機会につなげた。
113	幼稚園子育て支 援事業	① ②	長岡市私立 幼稚園・認 定こども園 協会	保育課	長岡私立幼稚園、認定こども園で実施。 1. ファミリーデーを設け、集団における子どもの活動を見 たり、育児についての講演を開き交流を深めている。 2. 園の行事(運動会、遠足、作品展、もちつき大会等)に 参加させ、親睦や交流を深めている。新型コロナウイルス 感染拡大防止の為に、行事を延期したり分散したりして 行った。 新型コロナウイルス感染症も収まり以前のように行事など も行えるようになった。	【重点項目①】 日々の積み重ねを大切にし、いろいろなことができた喜びを分かち合いながら、心身共に成長で きるように言葉をかけていき、たくさんのがんが身についた。 【重点項目②】 親子の触れ合いができる活動をたくさん取り入れ、みんなで楽しく参加できた。評価は今後も日々 家庭や園での人との関わりが深まり子どもたちが安心して過ごせる環境作りもをいろいろな面か ら達成できた。 昨年と同様である。

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
114	各種大会開催事業	⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪	(公財)長岡市スポーツ協会	スポーツ振興課	<p>広く市民にスポーツを普及し、スポーツ愛好者を増やすため、スポーツ愛好者が一同に集まり、日ごろの練習の成果発表と相互の交流を深め、誰でも参加できる種目別スポーツ大会を開催する。</p> <p>①市民スポーツ祭:21種目大会開催(コロナにより6種目大会中止)</p> <p>②長岡まつり共催スポーツ大会:7種目大会開催(コロナにより2種目大会中止)</p> <p>③その他大会:1種目(早起き野球大会)開催</p>	<p>【参加者数】※()内は昨年度実績 市民スポーツ祭:5,862人(4,480人) 長岡まつり共催スポーツ事業:1,798人(991人) 各種スポーツ大会:138人(162人)</p> <p>コロナ感染拡大を徹底しながら昨年よりは多くの大会を開催できた。それぞれの大会は、当協会加盟の競技団体が主管となって、開催までの準備や当日の運営を行っており、年齢別、レベル別に種目愛好者が交流し成果発表ができるように工夫している。</p> <p>今後、参加者を増やすために、競技団体や総合型地域スポーツクラブ、地区スポーツ協会と協力して、スポーツに気軽に親しめる初心者教室や体験会プログラムなどを充実し、クラブ等での活動の継続と大会参加につなげていく。また、アーバンスポーツやマインドスポーツなどの新しい種目大会も検討する。</p>
115	スポーツ教室・クラブ運営事業	⑤ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪	(公財)長岡市スポーツ協会	スポーツ振興課	<p>子どもから高齢者までの市民が生涯を通してスポーツ・レクリエーション活動や運動に親しみ、健康・体力づくりの日常化と仲間づくりを推進するため、身近な場所(公共体育施設やコミセン、学校施設島)を活用して通年型または短期型のスポーツ教室やクラブを30コースを開設した。</p> <p>また、エリアアドバイザーを配置し、地域住民が中心に参画する総合型地域スポーツクラブなどのコミュニティスポーツ推進組織の育成支援を行った。(6組織を育成支援1地域で創設支援)</p> <p>働き盛りの市民を対象にした、健康のための運動・スポーツにフォーカスした「地域健康スポーツ運動講座(健康課委託事業)」を9地域(支所地域)9講座で実施した。</p>	<p>【参加者数】※()内は昨年度実績(参加者数は延べ人数)</p> <p>●主要体育施設での学童スポーツ教室(つばさ、つばさプラス、キッズラン):3教室86人(5教室114人)</p> <p>●小学校体育館でのこどもスポーツクラブ(スポーツ幼年団):28クラブ3,157人(28クラブ2,592人)</p> <p>●支所地域を中心に総合型地域スポーツクラブ等の地域住民が主体となって運営する「コミュニティスポーツ推進組織」の育成支援を行った。育成支援団体:6団体(高専、三島、寺泊、川口、越路、山古志)、新規育成支援:1地区(与板)。それらの推進組織が各種教室を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童向け運動・スポーツ教室:34教室(24教室380人)。 ・青年～高齢者向けの各種健康体操・スポーツ、レクリエーション教室:20教室1,323人(16教室1,120人) <p>それぞれの教室等の指導は当協会のスポーツ指導員の他、養成した健康・体力づくり指導者を活用している。</p> <p>公共体育施設での各種教室・スポーツプログラムは指定管理者が実施しているため、当協会は地域コミセンなどを会場に事業を展開していく方針で、スポーツ振興課や健康増進課の事業を受託しているが対象が被る部分も多く、また、地域コミセンを主体として事業を展開していく手法をとっているが市のスポーツ推進計画等への理解が低い、あるいは主事やセンター長の多忙感で事業展開を阻害される、協力してもらえないなど温度差もあり、スムーズに事業展開できない。早期に地域の健康・運動・スポーツの振興について、スポーツ振興課、健康増進課、スポーツ協会でビジョンの共有、役割分担をするべきである。会合を持ってもらいたい。</p>
116	スポーツ少年団交流大会開催事業	⑤	(公財)長岡市スポーツ協会	スポーツ振興課	<p>市内のスポーツ少年団員が一堂に集い、日ごろの活動の成果発表と団員・指導者・母集団相互の交流を図るため、種目別交流大会及び種目の枠を超えて交流親睦を深める全体交流会を開催する。</p> <p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、11交流大会中2大会を中止。他大会の開催にあたっては新型コロナ対策を徹底のうえ実施。</p>	<p>【参加者数】※()内は昨年度実績 スポーツ少年団交流大会 :9大会 2,765人(7大会 1,657人)</p> <p>各大会は当協会加盟団体やスポーツ少年団が協力して運営にあたっている。中学部活動の地域移行を契機として志向に応じたスポーツの選択肢を整備していくこととしているので、スポーツ少年団交流大会はチャンピオン競技志向ではなく多くの子どもたちが交流できるように内容を工夫して実施を検討していく。</p>
117	指導者・団体育成事業	⑤	(公財)長岡市スポーツ協会	スポーツ振興課	<p>少年スポーツを効果的に推進するため、少年スポーツ指導者の養成並びに資質向上を図ることを目的にスポーツ少年団資格取得講習会を開催する。(年2回)</p> <p>【参考】※()内は昨年度実績 スポーツ少年団登録指導者数:R4年度315人(R3年度332人)</p>	<p>スポーツ少年団指導資格取得のための講習会の参加者数は、R4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため県主催(オンライン)開催のみ併せて、指導者登録数も減少しているため、競技団体と協力のもと、スポーツ少年団の種目別指導者組織を育成し、指導者の定着率を高める方策や指導者を発掘して育成する方策を検討していく。</p>

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
118	スポーツ教室・クラブ活動推進事業	① ②	(公財)長岡市スポーツ協会	スポーツ振興課	幼児(就園児、未就園児)を対象とした親子運動あそび教室を主要体育施設を中心に開催している。また、幼・保育園等に指導員を派遣し、運動能力や体力の向上、運動習慣の定着のための運動遊び教室を開催した。他、総合型地域スポーツクラブでも幼児、親子向けの運動教室を開催している。	【参加者数】※()内は昨年度実績 親子運動遊び教室：5教室371人(5教室352人) 幼稚園・保育園運動遊び教室：13園×3回(R3年度11園×3回) 当協会指導員の他、養成し健康・体力づくり指導者と連携して教室運営に当たっている。今後は普及啓発に重点を置くとともに、保育課・コミュニティセンター・総合型地域スポーツクラブと連携し、より身近なコミセン等で機会を提供していく。また、共働き家庭のために土日での開設を増やす方針。
120	専門指導者派遣事業	① ② ⑤ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑫	(公財)長岡市スポーツ協会	スポーツ振興課	市民に運動・スポーツの普及と浸透を図るため、学校、地域、職域が行う運動・スポーツ活動や行事等に依頼を受けて、その内容に応じた指導者を派遣する。(1回の派遣につき90分程度、6,000円の講師料) 内容は、親子体操やレクリエーション、コーディネーショントレーニング、各種フィットネス・健康体操の他、各種ニュースポーツや種目スポーツなどである。	【派遣回数】※()内は昨年度実績 スポーツレクリエーションリーダー派遣：54件(45件) 保育園・幼稚園、小・中学校、地域コミュニティへ要請に応じて指導者を派遣した、派遣指導者は当協会指導員の他、養成した健康・体力づくり指導者、当協会加盟競技団体の指導者である。 また、新たにスポーツイベントの企画・運営も請け負う事で、市民へ健康体操やスポーツをより効果的に普及していく。 今後も専門指導者を養成し、市民からの要望に対応できるメニューづくりや指導内容にしていきたい。
121	健康増進活動	⑦ ⑨ ⑩ ⑫	JAえちご中越組織福祉課	長岡中央総合病院 長岡市健康課	運動を通じてコミュニケーションを図る。 【運動会・スポーツ大会】JA支店と地域が連携して、健康づくりのスポーツの取り組みを実施。健康づくりと仲間づくりをすすめる。 【健康教室】少人数・グループでの開催を可能にし、手軽に参加できる健康講話や軽運動を実施し、健康についての関心を深める。 【JA健康寿命100歳プロジェクト】JA組合員・役職員をはじめとする、地域住民の健康づくりに対する関心を高め健康の源となる「食」において新潟の農畜産物の豊かさをPRし、「すべての人に健康と福祉を」(SDGsゴール3)に貢献するため取り組みを実施。9月～1月にかけての5カ月を実施期間とし、継続30日間の健康チャレンジに挑戦。	【運動会・スポーツ大会】 ①市民参画 ながおか地域実績：13会場1,536名(※令和元年度7,984名、令和2年度212名、令和3年度29名、令和4年度264名) ②さまざまな組織や機関の連携 スポーツを通じ地域住民との結びつきの維持・強化を図ることができた。 ③環境づくり 令和2～4に比べ、著しく開催数・参加人数が増加したが、コロナ拡大以前には遠く及ばず。この3年で廃止になった行事があることも原因の一つと考えられる。参加者増に向けて、よりいっそう地域との連携を深めていきたい。 【健康教室】 ①市民参画 ながおか地域実績：3会場55名 ②さまざまな組織や機関の連携 コミュニティセンターを通じ、高齢者を中心に長岡中央総合病院の理学療法士が健康管理について講話や軽運動を行った。コミュニティセンター・JA・病院の連携により、高齢者の健康意識をより高めることができた。 ③環境づくり 今後も参加者のニーズに合うものをテーマとし、内容の充実を図り、健康推進に努めていく。 【JA健康寿命100歳プロジェクト】 ①市民参画 JAえちご中越管内実績(参加者)：ハガキ474枚/WEBサイト98名 ②さまざまな組織や機関の連携 特設WEBサイトからの参加が可能になったことから若年層の参加も見受けられ、幅広い層から関心を得ることに成功した。 ③環境づくり チャレンジの効果を十分実感し満足された参加者が多数いられたことで「健康寿命の追伸」や、チャレンジ特典の県産農畜産物プレゼントによる「新潟の食の豊かさのPR」に貢献したと考える。

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
122	食生活の普及	⑦ ⑨ ⑩	JAえちご中 越組織福祉課		<p>家族や自分自身の健康を維持する為や正しい食習慣を身につける機会、情報交換の場とする。</p> <p>【リーダー研修会】ながおか地域女性部にて実施。栄養士やホテルニューオータニ長岡の調理顧問より講師をいただき、旬の地場産野菜を使った料理や米粉を使った料理をテーマに実施。各地区から選出されたリーダーより研修会の参加、その後自地区にて健康料理教室の伝達講習会を実施いただく。(6月10月年2回実施)</p> <p>【食育の日料理教室】地域住民・市民の交流の場として、なごら〜東店併設「市民交流施設イーネ」で、食農・食育に沿った料理教室を開催。月1回「食育の日料理教室」を開催。</p>	<p>【リーダー研修会】</p> <p>①市民参画 各地区伝達講習会実績：22会場229名</p> <p>②さまざまな組織や機関の連携 ホテルニューオータニ長岡の調理顧問の招聘など、参加者の興味を引く企画を行うことにより、参加者および支部から好評をいただいている。</p> <p>③環境づくり 料理レパートリーが増えることやアレンジ方法、作りやすさなどを学べることから大変人気となっているが、今後も「食」に関する技術向上と親睦を深められる活動の提供ができるよう企画を進めていく。</p> <p>【食育の日料理教室】</p> <p>①市民参画 実績：12回96名</p> <p>②さまざまな組織や機関の連携 旬の食材を使い、手軽に家庭でできる料理を提案することから、主婦層より人気となった。リピーターも多く、地域住民同士が「食」を通して関わりを持つことを実現した。</p> <p>③環境づくり メンバーが固定化してきているので、新しい方が参加しやすいきっかけ作りや広報活動に取り組んでいきたい。</p>
124	総合相談援助事業	⑧ ⑪ ⑬	長岡市社会福祉協議会		<p>日常生活上生ずる心配ごとや福祉に関する幅広い相談に適切な助言をおこない、他の専門機関と連携して総合相談援助活動を実施する。</p>	<p>令和5年度は386件の相談に対応した。 不安や悩みを相談することによりストレスを軽減できる。 直接の問題解決に至らなくても、相談者が抱えている課題と一緒に整理し、相談者に寄り添う支援が出来た。</p>
128	社会福祉協力校指定事業	⑥	長岡市社会福祉協議会	福祉課 学校教育課	<p>市内小・中学校、特別支援学校、高等学校及び高等専門学校を対象に福祉教育の充実を図るため、助成金を交付する。 福祉協力校だより、活動実践集録を発行する。 会議、研修会を実施する。</p>	<p>市内小・中学校、特別支援学校、高等学校及び高等専門学校の児童生徒を対象として、社会福祉の理解と関心を深め、公共心や社会連携意識を養い、ともに生きる福祉のまちづくりへの啓発を図った。 令和5年度は、100校を指定し助成金の交付を行った。 社会福祉協力校会議を書面にて2回実施、福祉協力校だより「おもしろい」を年間4回発行、また活動実践集録「おもしろい」を年1回発行し、すべての社会福祉協力校の年間活動状況等を共有できるようにした。</p>
130	多世代健康料理教室	⑦ ⑨ ⑩	長岡市食生活改善推進委員協議会 (健康増進課)	地区コミュニティセンター、健康増進課	<p>調理実習や講習会を通し、食生活の改善と健康意識の向上を図り、食生活からの生活習慣病予防と健康づくりを目的とした料理教室を実施する。</p> <p>長岡市食生活改善推進委員協議会に委託。</p>	<p>R5年度実績：51地区 参加者数：783人(R4年度769人)</p> <p>R5年度は「発酵食品と食物せんいで美味しく腸活」をテーマとし、食推が発酵食品を上手に使った、野菜たっぷりのメニューを提案した。 また、主菜は「学校給食減塩うまみランチ商品化事業」でも販売した「鶏肉の塩麹カレー焼き」にして、ここでも減塩のPRも行った。 食事バランスの考え方や減塩の工夫について、調理実習と講話を通して、地区住民へ普及啓発を図った。</p>

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
131	子育て支援地区活動	② ③	母子保健推進員協議会（子ども・子育て課）	長岡市母子保健推進員協議会、市民協働課、コミュニティセンター	身近な地域で子育てを支援する母子保健推進員が中心となり、地区の妊産婦・乳幼児を対象に育児講座やままのまカフェ、赤ちゃんのつどい等を実施し、子育て情報の提供や交流を図りながら、楽しく子育てができるよう支援するもの。	【重点項目②】 地区活動164回のうち、遊びに関する内容が38回実施された。親子遊びを通してスキンシップの方法を学ぶ機会となっている。 また、全市を対象とした「パパママと赤ちゃんのつどい」では、保育士を講師に、赤ちゃんの言葉がけやスキンシップの方法を夫婦で学ぶ機会となっている。 【重点項目③】 令和5年度、子育て支援地区活動は164回実施、1035組の親子が参加。親子サークル活動が衰退している中で、地域に拠点を置いた活動を母推が実施、母親同士の交流や仲間づくりができています。また母推と顔見知りになることで、身近な相談相手となり、安心して子育てできる環境ができています。また、子育ての駅3か所、20の地域において、おもに乳児を対象とした「ままのまカフェ」を開催。199回実施、967組の参加があった。母親同士が子育ての悩みについて相談できる場、市外県外からの転入者にとっては、友達づくりや地域の活動を紹介する場となっている。
133	PTA 活動	④ ⑤	長岡市出雲崎町小中学校PTA連合会（子ども・子育て課）		子どもたちにとって、この時期は規則正しい生活習慣を送りながら、基礎体力を養うことが大切であることから、運動する機会を多く設けることや楽しく体を動かせるよう指導している。また、子どもだけではなく、家族と共に体を動かすことにより親子のふれあいやコミュニケーションを図っている。（地域でのスポーツクラブの紹介、学校給食の工夫、市P連事業での親子の料理教室など） 今後の課題である「部活動の地域移行」について国・県・市の取組状況を理解するため研修会を開催する。	【重点④】 給食の楽しさや献立内容を知ってもらうため、親子給食試食会を例年計画しているが、コロナ禍のため多くの学校で中止となった。また、学年PTA活動としてコミュニケーション能力や食の教育を推進するために親子料理教室も多くの学校で中止となった。このようなコロナ禍が終息に向かう途中ではあったが、感染等に十分注意して、市P連と企業が連携して親子の料理教室「魚の下ごしらえ教室」を開催した。親子での調理を通じて親子のコミュニケーションづくりや「食の大切さ」「感謝のこころ」を育成する機会となった。 これらの取組は、家庭における食習慣を見直す機会となるため、感染症対策をとりながら次年度以降も継続していきたい。 【重点⑤】 スポーツに取り組む機会を増やすため、学校や地域のスポーツクラブ活動の啓発に取り組んでいる。 学校によっては、親と子の人間関係づくりの向上を目指し親子レクリエーション事業を計画していたが、コロナ禍の影響を引きずり実施できなかった。これらの取組はコロナの状況を見て、次年度以降も継続していきたい。 また、部活動の地域移行にかかわる研修会を会長副会長研修会で開催し、周知を図った。
134	各学校のPTA事業に保育を実施	③	長岡市出雲崎町小中学校PTA連合会（子ども・子育て課）		子育てについて、各ブロック(7ブロック)ごとに特色ある研修を計画し、親子のかかわり方等について理解を深める。	市内7ブロックごとに、子育てにかかわる講演会や話し合い、実技体験を実施し、子育てについて相談し合えるネットワークづくりに取り組んだ。

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
135	単位クラブ活動	⑫	長岡市老人クラブ連合会	長寿はつらつ課 スポーツ振興課	老人クラブ会員の健康維持と単位クラブの相互交流を目的に、各種スポーツ大会を開催し、運動習慣の動機づけを図る。	令和5年度はすべての大会を実施 ・高齢者親善ペタンク大会 令和5年6月6日長岡市陸上競技場で時間短縮にて実施。47名参加 ・高齢者スポーツ大会 令和5年7月14日北部体育館にて種目を減らし時間短縮にて実施。 選手・役員含め99名参加で盛況だった ・グラウンドゴルフ長岡支部大会 令和5年8月25日ニュータウン運動公園にて実施。 選手・役員含め82名の参加で盛況だった。 ・市老連ゲートボール大会 令和5年9月29日長岡市陸上競技場にて実施。選手・役員含め48名参加 ・長岡支部ゲートボール大会 令和5年10月11日長岡市陸上競技場にて実施。選手・役員含め67名参加 ・市老連グラウンドゴルフ大会 令和4年10月13日ニュータウン運動公園にて各支部からの選手91名(役員を含めて102名)の参加でたいへん盛況だった。 ①市民参画として老人クラブの会員数は年々減少しているが、ほぼすべての大会で参加人数は増えている。90歳を超える方も2名参加していただいている。 大会を目標に日々練習することが健康維持に繋がっていると思われる。 ②関係機関への連携として長寿はつらつ課、スポーツ振興課に会場の共催、補助金や補助団体の依頼をお願いしている。
136	健康維持スポーツ大会	⑫	長岡市老人クラブ連合会	長寿はつらつ課 スポーツ振興課	冬の運動不足解消に手軽にみんなで楽しめる軽スポーツ大会を行う。 種目はペタンク、スカットボール、輪投げの3種目。	健康維持スポーツ大会 令和6年2月9日長岡市民体育館にて各種目参加人数を制限して実施。役員を含め198名参加。たいへん盛況だった。今年度は予選会を辞めできるだけ多くの人に好きな種目に参加していただいた。 ①市民参画として前年度以上に活発な会だった。
140	割り箸リサイクル事業	⑭	NPO法人 地域循環ネットワーク	長岡市環境部 長岡市雪しか祭り実行委員会	『わりばしメイト』として協力していただいている飲食店から出るわりばしを回収・分別して、パルプや炭・チップの原料として利用しています。 ボランティア活動の輪は、精神障害者・知的障害者の人達の社会参加活動の一部として活かされ、資源の循環が人の循環につながっています。 【事業概要(令和3年度)】使用済みカイロ回収運動(期間限定)使用済みカイロの原材料である鉄粉と活性炭が役に立つことから、長岡市内の事業所へ運ばれ、鉄の資源材として活用します。長岡市内の企業、コミュニティセンター、学校、一般市民が参加して使用済みカイロの中身を収集しています。使用済みカイロ回収量:699.5kg(2021年12月～2022年3月)R4年度カイロ回収運動は5月末をもって終了しました。R5年度の回収はありません。	R4年度に事業終了し、令和5年5月に地域循環ネットワークは解散したためR5年度実績なし。
142	雑古紙トレペ頒布事業	⑭	NPO法人 地域循環ネットワーク		雑古紙100%使用で完全無漂白製品の普及(トイレトーパー) 牛乳パック再生紙ひもの販売を行う。	R4年度の在庫をもって販売を終了し、令和5年5月に地域循環ネットワークは解散したためR5年度実績なし。
143	資源・農業循環交流事業	⑭	NPO法人 地域循環ネットワーク		・純米吟醸酒 大地のおくりもの 農業を使わずに生産したコシヒカリを100%使用して、池浦酒造にて純米吟醸酒大地のおくりものを醸造。夏・冬の年2回の蔵出しを行っています。	R5年5月に地域循環ネットワークは解散したため実績なし。

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
147	子どもの虐待防止ネット・にいがた学習会・講座	③	子どもの虐待防止ネット・にいがた	子ども・子育て課	親の視点に立ち上手なコミュニケーション講座やNPプログラムを紹介し、良いしつけの方法を学んだり、親同士が話し合い自分にあった子育て方法を学んでいくことを支援する。また、親子の関わり方を学んでいく。親支援プログラム・出前講座・講演会・相談ほか 【事業概要(令和2年度)】 CCAP版ペアレンティングプログラムほか 【事業概要(令和3年度)】(コロナウィルスにより詳細未定) CCAP版ペアレンティングプログラム講座 【事業概要(令和4年度)】ママ向けNP講座、パパ向けNP講座。CCAP版ペアレンティングプログラム。ペアレンティングプログラムダイジェスト版。講演会「医療と子ども虐待」他 【事業概要R5年度)】CCAP版ペアレンティングプログラム、ペアレンティングプログラムダイジェスト版、ママ向けNPプログラム、RIFCR研修会、CCAP版ペアレンティングプログラムファシリテーター養成講座	①市民参画 (毎回10~15人の枠で実施。毎回抽選となっている) ママ向けNP12人 人 CCAP版ベアトレ(12人) ダイジェスト版3回 ②さまざまな組織や機関の連携 子ども・子育て課、長岡市医師会、地区民生児童委員、母子保健推進員 ③環境づくり 子育て支援という観点から企業、幼稚園、保育園へ出前講座等を実施し、子育て支援から子どもの虐待防止へとつながる環境を作っていくことを関係機関と再認識した。ベアトレ講座は人気も高く、親子関係を見直したり構築していく上でも非常に有効なプログラムと思う。その他親向け講座では父親向け講座を必要と感じ、開催するという長岡市の視点はこれからも期待したい。
148	無料育児相談	① ② ③	長岡助産師会	子ども・子育て課 子育ての駅	令和4年6月より子育ての駅「てくてく」の一角を借用し 毎月第三木曜日10:30~11:30対面による相談を実施する 相談内容:子育て全般(発達・発育・母乳栄養・離乳食・メンタルヘルスなど)	令和5年度 ①相談実施回数12回 ②相談者数71名 ③相談件数79件 相談内容は(1)発育・発達 (2)母乳・授乳 (3)離乳食 (4)育児一般 (5)その他 であった。 令和4年度から始まった活動であるが相談日のてくてくの館内放送でのPRなどもあり 徐々に相談者数 相談件数も増加してきている。母乳育児など電話対応のみでは対応しきれないこともあったが 直接アドバイスできることで相談者の方にも満足していただけたと思う。母親のメンタル面での相談もあり 今後も増加してくると思われ 子育てに悩むママたちに寄り添った相談活動をしていきたいと思う。
149	高齢者就業機会確保事業	⑫	(公社)長岡市シルバー人材センター	福祉総務課	・高齢者の就業に関する情報の収集及び提供 ・高齢者の就業に関する調査研究 ・高齢者の就業に関する相談 ・臨時的かつ短期的な就業(雇用を除く)又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保及び提供 ・臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業(雇用による)の職業紹介又は労働者派遣事業 就業に必要な知識・技能の付与を目的とした講習会の実施 ・高齢者の能力を活用し、多様な就業及び社会参加活動を行う機会を確保するために必要な事業 ・高齢者世帯や要援護世帯及び子育て世代に対する生活支援事業 ・市民を対象とした講習会及び地域の伝統工芸継承に関する教室の開催 ・関係団体と連携し、説明会の実施や相談窓口の設置	①市民参画 会員及び市民向けに実施する講習会は、令和5年度・24講習、参加者数390名であった。 現状は、ホワイトカラーの入会増の一方、外仕事希望者が減少しているため、会員ニーズと就業依頼ニーズがミスマッチの状況が続いている。また、広く市民に周知されるために、HP(ホームページ)等のメディアの活用、新聞折り込みなどを実施し、さらに積極的なPRに努めていく。 ②さまざまな組織や機関の連携 長岡市及び各地域や団体が主催するイベント等への積極的な参加により、センター事業の普及啓発を行い、参加の目的やPR方法なども工夫し広く周知している。また従来行っているボランティア活動でセンター事業の理解を図っている。令和3年度よりフードドライブを各地域で開催し、会員の社会参加意識の向上を図るとともにセンター事業のPRにも大いに効果があった。また、ハローワークと連携した就職・就業相談会の出張開催により、地域の働きたい高齢者のフォローに取り組んでいる。 ③環境づくり 高齢者が元気で住み良い環境づくりとして、これからも市民のニーズをとらえ、気軽に参加できる講習会の実施、ボランティア活動などを紹介するとともに、HP(ホームページ)での発信、WEBでの入会登録、LINEの運用等様々なメディアを活用してPRすることで、センター事業への関心を高めてもらい、入会促進を図る。また、入会してセンター活動に触れることで、健康、生きがい、仲間づくりといった充実したライフスタイル(フレイル予防を含めた)を送れるように手助けしていく。

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
150	相談事業	⑪	市民協働センター	市民協働課、NPO法人市民協働ネットワーク 長岡	NPO法人や市民活動団体の立ち上げ・運営等に関する相談を行う。 ・市民団体のニーズに合わせた講座の開催 ・YouTubeライブ配信、後日視聴も可能とした ・市民協働センター施設を使つての活動PR ・個人の市民活動参加に関する情報の受発信 ・ボランティア活動を始めたい人への活動紹介 ・仲間作りの相談	1) 講座 ○一般向け講座「ながおか暮らしの編集会議」会場64名、オンライン37名参加 ○組織運営講座 ①かしこい補助金活用術 会場3、後日配信3名、後日視聴11名②つながりを処方する 会場5名、ライブ配信7名、後日配信28名 ③メディアに取材されるには 会場4名、ライブ配信4名、後日配信23名④AIで市民活動はどう変わる？ 会場7名、ライブ配信7名、後日配信12名 ⑤メンバー・ボランティア・寄付・依頼を集める発信ツールづくり 会場3名、ライブ配信7名、後日配信17名 ⑥アイディアあふれるワークショップのつくり方 会場4名、ライブ配信10名、後日配信28名 ⑦ボランティアの謝礼はどうする？ 会場6名、ライブ配信2名、後日配信24名 ⑧いよいよ始まったインボイス制度を知ろう ライブ配信4名、後日配信16名 ⑨SNS広告を活用しよう 会場4名、ライブ配信6名、後日配信18名 ⑩TEDx実行者が教える！プレゼンのコツ 会場4名、ライブ配信9名、後日配信18名 ⑪法人格で活動は変わるのか？ 会場6名、ライブ配信8名、後日配信19名 ⑫知ろう！使おう！事例から学ぶ補助金活用術 会場5名、ライブ配信8名、後日配信19名 2) 出前相談 4 件 3) 市民活動情報誌「らこって」毎月発行 「FMながおか」市民活動を紹介する番組「つながるラジオ」48回放送 Facebook,twitter,Instagramでの情報発信 4) 相談件数 828件
151	健康づくり支援店普及事業 【R4年～】 自然に健康な食事ができる環境づくり事業	① ④ ⑦ ⑨ ⑩ ⑬	長岡地域振興局健康福祉環境部 地域保健課		家庭の食事だけでなく、飲食店等が住民の健康づくり支援に積極的に関われる環境をつくり、住民が容易に健康管理を行えるように健康づくり支援店普及事業を実施し、住民の健康づくり活動を支援する。 (1)健康づくり支援店の普及 (2)健康づくり支援店及び栄養成分表示等の普及啓発 (3)健康づくり支援の新規指定店の増加及び既存店の内容充実に向けた店舗支援 【R4年～】自然に健康な食事ができる環境づくり事業 健康関心度に関わらず、誰もが健康になれることを目指し、中食を軸に食環境づくりを推進する。県が登録したスーパーマーケット等と協働し、健康に配慮した中食の提供や啓発活動を実施する。 (1)「けんこうtime推進店」、「からだがよろこぶデリ」の普及啓発 (2)「けんこうtime推進店」の登録促進	<健康づくり支援店の指定> 健康づくり支援店登録数 228店舗(R4年3月末現在) <普及啓発> 当部事業やホームページでの事業紹介等 ○「健康づくり支援店普及事業」については、令和4年3月末で事業終了 <自然に健康な食事ができる環境づくり事業> R4年度から「けんこうtime推進店」及び「からだがよろこぶデリ」の販売状況 R5年度末新潟県内 17社(235店舗) 長岡保健所管内 5社(37店舗) 管内に本社がある2社●への働きかけを実施。 ・イオンリテール株式会社 ●原信ナルスオペレーションサービス株式会社 ・株式会社、ウオロクホールディングス ・株式会社オーシャンシステムチャレンジャー事業部 ●株式会社マルイ
152	精神保健福祉相談	⑧ ⑪ ⑬	長岡地域振興局健康福祉環境部 地域保健課		【事業概要(令和5年度)】 心の健康や精神疾患に関する相談に応じる。 1 定例相談会 困難事例等を精神科医師が相談に対応 2 随時相談 精神保健福祉相談員の対応 3 ところの相談ダイヤル 4 訪問指導	1 定例相談 実績/計画 所内相談 2回/3回 4件 2 随時相談 来所または電話による相談に随時対応した。 3 ところの相談ダイヤル 平日昼間1038件(R5年4月1日からR6年2月末までの相談件数) ○市町相談・病院関係機関と連携しながら、引き続き当事者や家族を支援する。

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
156	たばこ対策推進事業	⑦ ⑨ ⑩ ⑫	長岡地域振興局健康福祉環境部 地域保健課		喫煙・受動喫煙の健康への影響について普及啓発を行う。また、望まない受動喫煙の防止を図るため、改正健康増進法の周知や適切な対応を行う。 1 喫煙や受動喫煙による健康影響、世界禁煙デー、禁煙週間等の普及啓発 2 改正健康増進法の周知 3 たばこ対策に関する相談・通報、指導・助言対応等	1 喫煙や受動喫煙による健康影響、世界禁煙デー、禁煙週間等の普及啓発 当部ホームページ、Twitter、FMながおか等による啓発を実施 2 改正健康増進法の周知 食品衛生協会研修会での資料配布、新規営業許可取得者、継続者への法内容説明リーフレット配布、健康経営推進企業等のメーリングリストで、たばこ対策の好事例を紹介 3 たばこ対策に関する相談・通報、指導・助言対応等 相談・通報対応、指導・助言等を実施 ○引き続き、様々な場を活用し、普及啓発を行う。また、健康増進法が改正され、令和2年4月から多数の者が利用する全ての施設は、原則屋内禁煙となっている。これらの法の周知や受動喫煙防止措置に対する相談対応、指導等を適切に行っていく。
157	地域職域連携推進協議会	⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪	長岡地域振興局健康福祉環境部 地域保健課		働き盛り世代からの生活習慣病予防対策をすすめるため、働く世代の健康管理及び健康づくりの重要性について事業者等へ普及啓発を図るとともに、中小規模事業所においても働き盛り世代が健康づくりに取り組みやすい環境整備をする。 ・地域・職域連携推進協議会の開催(1回/年) ・健康経営推進企業の健康管理者向け情報交換会の開催(1回/年) ・健康づくりに関する情報提供。健康づくり情報が共有できるネットワークを整備(メーリングリスト、HP、SNS(Twitter)等)し、定期的な情報発信を行う。 ・事業所を対象にした出前健康講座(年間随時)	1 地域・職域連携推進検討会(1回/年) 【開催日】 令和6年3月19日(火)オンライン形式で開催 【内容】 (1)取組報告・共有「令和5年度働く世代の健康づくりに関する取組」 (2)意見交換・検討「働く世代の主体的健康づくりの支援～中小規模事業所への支援を考える～」 【結果】 ・中小規模事業所の健康管理に関する実態、特に健康に関する(事業主の)意識が影響すると考えられ、そこを明らかにしていくことは有効。 ・各機関、それぞれが関係する事業所への聞き取りには協力をえることは可能。実態把握(聞き取り)の目的と内容の明確化、負担のかからない内容を示すことが必要。 ⇒次年度計画案への賛同は得られた。 2 健康教育の実施 前年度から引き続き、希望のある事業所に対して健康に関する講演等出前講座を実施。 1事業所からの申込に対応(7/12、参加者10名)
159	ままのまカフェへの助産師派遣事業	① ② ③	長岡助産師会	子ども・子育て課、母子保健推進員協議会	毎月第一木曜日に行われている双子版ままのまカフェへ助産師を派遣し 参加者の相談にあたる	令和5年度は毎月開催 ①派遣回数12回 ②相談者数17名 ③相談件数22件 相談内容は発育・発達 離乳食・母乳・授乳 育児一般。 ママ達の輪の中に入り 必要に応じて相談を受ける。 相談というほどのものではないがちょっとしたことなど日ごろの疑問など専門者からのアドバイスが受けられたいことなどで喜ばれた。 前年度に比べ 参加者数が激減のため 令和6年度は年4回(6月・9月・12月・3月)の開催となった

事業No.	事業名	重点項目	実施主体	関係課 関係団体	事業概要	R5年度事業評価
160	多世代健康まちづくり事業	⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭	健康増進課	福祉総務課、(一社)地域活性化・健康事業コンソーシアム、長岡歯科医師会、長岡市薬剤師会	<p>多世代の市民の健康づくりを支援するため、民間のノウハウを活用し健康づくりの取り組みを継続できる環境を整え、“健康なまちながおか”を実現するもの</p> <p>【事業内容】</p> <p>1 地域への展開(セミナー関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域健康スポーツ習慣化プログラム ・青壮年期向け健康づくり啓発事業 ・健康づくり環境整備(測定器の設置/管理) <p>2 多世代への展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡市薬剤師会との共催事業 ・長岡歯科医師会との共催事業 <p>3 タニタカフェを拠点とした事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タニタカフェ栄養相談 ・カフェDE健康講座、まちなかウォーキング 	<p><実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域健康スポーツ習慣化プログラム:9支所地域で実施 実123人 延696人参加 ・青壮年期向け健康づくり啓発事業 ①専門学校と大学:計3校で3回実施。体組成測定・運動、栄養、こころの講座等 延136人参加 ②企業:4企業2団体で実施。健康・運動講座等実施。6回延156人参加 ・健康づくり環境整備:市内のウェルネススポット13か所設置 ・長岡市薬剤師会との共催事業:「くすりと健康のイベント」10月22日実施 221人参加 ・長岡歯科医師会との共催事業:「歯と食の健口ひろば」6月4日実施 84人参加 ・タニタカフェ栄養相談:3,420人 カフェDE健康講座、まちなかウォーキング:合わせて48回、883人 <p>○地域への展開として、地域健康スポーツ習慣化プログラムで9支所地域で実施出来たほか、多世代からの参加があった。また、青壮年期向け健康づくり啓発では、学校や企業等幅広い対象に健康づくりの啓発を実施出来た。</p> <p>○薬剤師会や歯科医師会などと共催事業を実施することで、様々な専門職の専門性を活かした事業の展開を実施することが出来た。</p> <p>○ウェルネス・スポットでは、市民が身近な場所で健康づくりが出来る場所として活用されている。</p>